

91
10
39

準貴

元禄元戎辰年十月十日

公義波御上

一

同八乙亥年十月十日

公儀江被仰上候控目錄

公儀被仰上候控

公儀^江被仰上候控

- 一 元禄元^{戊辰}年十二月^才 同 八^{乙亥}年十二月^迄
- 二 元禄九^{丙子}年^才 同 十五^{壬午}年^{三至}
- 三 元禄十六^{癸未}年^才 寶永四^{丁亥}年^迄
- 四 寶永五^{戊子}年^才 正徳六^{丙申}年^迄
- 五 享保元^{丙申}年八月^才 同 三^{戊戌}年十月五日^迄
- 六 享保三^{戊戌}年十二月^才 同 十^{乙巳}年十一月^迄
- 七 享保十一^{丙午}年^才 同 十四^{己酉}年^迄
- 八 享保十五^{庚戌}年^才 同 二十^{乙卯}年^迄
- 九 享保廿一^{丙辰}年^才 寛保三^{癸亥}年^迄
- 十 延享二^{乙丑}年三月^才 寶曆二^{壬申}年二月^迄

16	一	寶曆二	主申年二月	同	十二	主午年五月十七日	
17	二	寶曆十二	主午年五月	18	明和七	庚寅年	
19	三	安永五	丙申年	同	七	戌年	
20	四	安永七	戌年	21	天明四	甲辰年	
22	五	天明五	乙巳年	23	寬政十一	乙未年	
24	六	文化元	甲子年	同	九	壬申年	
25	七	文政七	甲申年	同	十一	戌子年	
26	八	文政十二	乙丑年	27	天保四	癸巳年	
29	九	天保十三	壬寅年	30	弘化二	乙巳年	
31	二〇	嘉永三	甲戌年	32	同	五	壬子年
33	二一	安政三	丙辰年	33	同	五	壬子年

番外

37 一 唐兵亂風說朝鮮國山賊徒黨御案內被仰上候控 正德四甲午年
享保七壬寅年

38 二 御證人被仰上等之集書 從寬永年
至寬文年

39 三 公儀被差上候從朝鮮國之書翰仕立方并袋押札認方跡留

此書係由...
 卷之...
 第...
 一...
 二...
 三...
 四...
 五...
 六...
 七...
 八...
 九...
 十...
 十一...
 十二...
 十三...
 十四...
 十五...
 十六...
 十七...
 十八...
 十九...
 二十...

元禄元辰辰年一青

心義



作上

二

一書再々

に部

月八乙亥年一青

元祿元年 戊辰 辰十二月十日對府新時樂務勘定
元祿元年 侍屋町倉燒失
元祿元年 十二月十日對府新時樂務勘定
元祿元年 十二月十日對府新時樂務勘定
元祿元年 十二月十日對府新時樂務勘定
元祿元年 十二月十日對府新時樂務勘定

辰十二月十日對府新時樂務勘定
辰十二月十日對府新時樂務勘定

一侍家 拾七軒
一足控家 拾九軒

四屋

百拾二軒

一書卷

六軒

合家教式百拾九軒并出卷六軒

心匠七目

清卷

料紙（一）（二）（三）（四）（五）（六）（七）（八）（九）（十）

他由封入是余書と被下（一）是書封（二）

燒出之清卷（一）建之（二）合家教書裁結（三）

侍町（一）掛之屋敷（二）合家教（三）裁結（四）

船添紙（一）下（二）被持（三）裁結（四）

一右之（一）清卷（二）合家教書封（三）

燒出合家教之是

合家教百拾九軒

同百拾六軒（一）

被持九家持

同九拾七軒（一）

六拾八家持

同八拾六軒（一）

奉町八家持

信屋式百八拾六軒

内九軒

持持人之棚

同拾六軒

六拾人之棚

同貳百六拾五軒

平町人之棚

过青倉二軒

合五百拾五軒

燒失之五拾八軒

町殺八町

六町平馬場町 田平新町 五町
十五番町 十五番南町 濱之町 六町南

記

辰 十二月十日

○ 此書乃... 乙辰... 出...

志... 德... 德... 德...

乙巳年... 德... 德... 德...

志... 德... 德... 德...

[Faint bleed-through text from the reverse side]

元禄二巳年... 德... 德... 德...

德... 德... 德... 德...

志... 德... 德... 德...

心と云ふ

同者古事多更得痛中計らふ人年は誠以
難海に入湯はささく今痛過くは難事な
左より湯治は法は古事は難成り
難事といふ事なむ

同者古事十九日

宋對馬

。此料紙事多更得痛中計らふ人年は誠以

古事多更得痛中計らふ人年は誠以
難海に入湯はささく今痛過くは難事な
左より湯治は法は古事は難成り
難事といふ事なむ

一 同者古事多更得痛中計らふ人年は誠以
難海に入湯はささく今痛過くは難事な
左より湯治は法は古事は難成り
難事といふ事なむ

清江先生文集卷之七

元祿二年

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

此の書は、越の書同書、流の書、
とて、
とて、

田内氏曰

宗数馬年

右の書、
とて、

元禄元戊辰

三月、
とて、

浦、
とて、

流、
とて、

とて、

とて、

とて、

とて、

多知後... 肥前國... 用人... 肥前國... 用人...

平人... 貴孫海人子

一 貴孫

去辰四拾歲

右首尾... 元祿元年... 辰十月...

死骸相... 辰十月...

西... 辰十月...

平人... 孫是也子

一 西... 辰

去辰五拾歲

右... 元祿元年... 辰十一月...

死骸相... 辰十一月...

平福... 辰十一月...

右... 相... 辰十一月...

少...

元祿式巳年二月四日

宗封馬守... 角...

友之任職者
稽生之任職者

稽生之任職者
稽生之任職者

右幸遇家法諸君之各料儀奉也身諸
之也古事也身之事也古事也身之事也
下 殿校出者書之

元禄武巳巳年六月廿一日阿部豊後守平因
妻清之系上仕用入極井行高滿波向後
今年人參知事戶傳守胡魁之也等云
之也古事也身之事也古事也身之事也
京師之也古事也身之事也古事也身之事也
行也古事也身之事也古事也身之事也
元之也古事也身之事也古事也身之事也
之也古事也身之事也古事也身之事也
之也古事也身之事也古事也身之事也
之也古事也身之事也古事也身之事也

自一与地方上國並一息女也其地是也
了入之也年一也石河也皆之也東和文并
只之虫人北之

真業

日本國對馬列太守拾遺平 義真 奉書

朝鮮國禮曹大人 閣下

槐夏向炎緬想

貴國安謐

本邦清平共祝遐遠茲諭

貴國通貨人參近間不見輸出館市無一歲之入則久一歲之用其人參

貴國珍產藥種上品不類餘物別不得他求前古交易元有科條蓋

立制禁也恐不許張例法不常實所疑恠矣敬邑司職既存定式

勤

進獻諸於

東都今無其貢而怠其績何以為言哉況城內劑用受之甚艱

本邦不可必無而

貴國不可不交易者也只冀全兩間道深千秋好不喪舊規降

命該道俾高賈輒賣三極以辨藥事實仁術之一端不腆薄儀

荒留是希統惟

昭亮爾此不宣

元祿貳年巳巳四月日

右ノ和文

一筆下ノ書之ハ其ノ由縁ニ由リ年安ニ地宜
好ムト邦同初ノ事ニ由ルニ年人參
加可ト守 公儀ハ誠ニ并日中事ニ也用
カケルモノナリト云フニ由リ物ニ智角
ト儀年日中事ニ也用ト人參カ所由ニ
公儀邊賣渡ハ由リト云フニ由リ
儀ノ通用ト云フニ由リト云フニ由リ
儀ハ誠ニ并日中事ニ也用ト云フニ由リ
儀ハ誠ニ并日中事ニ也用ト云フニ由リ

公儀邊賣渡ハ由リト云フニ由リ
儀ノ通用ト云フニ由リト云フニ由リ
儀ハ誠ニ并日中事ニ也用ト云フニ由リ
儀ハ誠ニ并日中事ニ也用ト云フニ由リ
儀ハ誠ニ并日中事ニ也用ト云フニ由リ
儀ハ誠ニ并日中事ニ也用ト云フニ由リ
儀ハ誠ニ并日中事ニ也用ト云フニ由リ
儀ハ誠ニ并日中事ニ也用ト云フニ由リ
儀ハ誠ニ并日中事ニ也用ト云フニ由リ

巳巳四月日

禮曹参少議

此和文物系社ハ大沙乞不
カケルモノナリト云フニ由リ

口之受人

去年者也尸之後を年一人参りて意尸二付
 多く波を是れはとお調南年とてを拂りて
 此意は今年多首と相虫の責負か一言の
 人年とて候も 么儀は此と仕る相控あり
 東行は是れは右日中國中是月五年とて
 其法人難儀に仕るは相親に以曹衆
 議の心算も言ふ事と好對列の 是れ年
輪書は信蓮の志常長也尸一後とてお
 語道中五年後尸言はたは後入の心好也
 草末五尸の尸とて道人参り候も尸とて
 尚暮年参りては尸とて拂りて人参り候も
 少くは是れとて好は此取も尸とて
 尸數の尸とて

心之受人

對馬
 平南

口之受人

對馬は幾日也中地之心也一心中初言相衆

しし友とて言ふ女と云ふ是れと申す對馬と申す
川と申す。此婚儀之儀目之申す。此等と申す
縁組仕と申す。不吉言。思ふとて於此縁組
仕交子好しと云ふ女と對馬と結ぶ。由も申す。此等
と申す。左側。津巴と申す。此等と申す。

六卷十回

兼對馬

平國

一回十二日河部豊後と申す。此等と申す。

此等と申す。此等と申す。此等と申す。此等と申す。

此等と申す。此等と申す。此等と申す。此等と申す。

此等と申す。此等と申す。此等と申す。此等と申す。

此等と申す。此等と申す。此等と申す。此等と申す。

此等と申す。此等と申す。此等と申す。此等と申す。

此等と申す。此等と申す。此等と申す。此等と申す。

此等と申す。此等と申す。此等と申す。此等と申す。

此等と申す。此等と申す。此等と申す。此等と申す。

此等と申す。此等と申す。此等と申す。此等と申す。

月ノ事ニシテ古ノ方ニ於テ是ノ反ノ病ニ如ク然
ル也ノ一法事一将ク是ノ縁起ヲ知ルニ如ク是
ノ縁起ニ如ク是ノ縁起ニ如ク是ノ縁起ニ如ク
是ノ縁起ニ如ク是ノ縁起ニ如ク是ノ縁起ニ如ク
是ノ縁起ニ如ク是ノ縁起ニ如ク是ノ縁起ニ如ク
是ノ縁起ニ如ク是ノ縁起ニ如ク是ノ縁起ニ如ク
是ノ縁起ニ如ク是ノ縁起ニ如ク是ノ縁起ニ如ク
是ノ縁起ニ如ク是ノ縁起ニ如ク是ノ縁起ニ如ク

一

今ノ反ノ縁起ニ如ク是ノ縁起ニ如ク是ノ縁起ニ如ク
是ノ縁起ニ如ク是ノ縁起ニ如ク是ノ縁起ニ如ク
是ノ縁起ニ如ク是ノ縁起ニ如ク是ノ縁起ニ如ク

修ノ方ニ如ク是ノ縁起ニ如ク是ノ縁起ニ如ク

一石ノ通人矢ノ如ク是ノ縁起ニ如ク是ノ縁起ニ如ク

一掃ノ如ク是ノ縁起ニ如ク是ノ縁起ニ如ク是ノ縁起ニ如ク

者ノ如ク是ノ縁起ニ如ク是ノ縁起ニ如ク

一日ノ中ノ如ク是ノ縁起ニ如ク是ノ縁起ニ如ク

一室ノ如ク是ノ縁起ニ如ク是ノ縁起ニ如ク

一室ノ縁起ニ如ク是ノ縁起ニ如ク是ノ縁起ニ如ク

一室ノ縁起ニ如ク是ノ縁起ニ如ク是ノ縁起ニ如ク

女を娶ふし物より女を継ぐ身より好む新嫁
と女を娶ふと女を継ぐ身より好む新嫁
早入事しと

二首十一

河部君後書

宋對馬書後

長年

元禄元戌辰十一月甲午馬島月海島村西渡
と海軍の胡部人三送中か返務少由か已月
二百八日村に津連成るに月大首元馬島
七月廿日朝長後書後上流本も書書と元九
冊の書書つ、本書書後向後 海軍の
しとて、對馬も書と元九礼し之復胡部中全羅
道之内康津多し可入漢氏祀殿、宗祖四少
上月了り馬島月海島村、海島之は分り海島後
長海島之は分り海島之は分り海島後

啓居珍必慰荷實深漂船人口專蒙

拯濟終脫魚腹獲遂孤首如非交好之誼久而深焉何能津

遣之每每如此良用嘉歎

珍貺尤佩

盛眷菲品略表回敬

宗諒不宣

己巳年閏三月 日

禮曹參議俞 夏謙

別幅

人參壹劬

虎皮壹張

豹皮壹張

白苧布伍匹

白綿紬伍匹

黑麻布叁匹

白木綿拾匹

花席叁張

四張付油花貳浮

黃毛筆冬拾柄

真墨冬拾笏

際

己巳年閏三月。日

禮曹參議俞

夏謙

石中書第...

...

朝鮮人口之書

一 漢人 漢明親王金羅道...

十月廿九日 一 艘 宗祖系長...

者 漢人 一 艘 宗祖系長...

波 次 放 洋 中 一 日 舟 五 回 有 旨 免

之 爲 自 海 右 村 西 津 多 可 以 深 者 往 也

勿 論 何 由 之 浦 之 人 揚 垂 不 可 惟 也

人 之 宗 親 何 處 而 其 後 年 矣

一 家 之 男 女 二 十 人 之 者 宗 方 之 釋 迦 觀 音

之 念 之 常 南 無 阿 彌 陀 佛 之 唱 丁 乙 切

死舟与云云在女米

一 家之尤上可云官電云云此云云田高以
等云云在漢人云云送後也只後米

一 視之乃鴉片標云云此云云遠國中一舉
之賄汚也此是彼作身產焉疏大昔長崎
宗和仕此云云此云云此云云此云云

以

船頭

元禄元巳年国定三首

丑子二
父三三

笑

一朝解之漢船 去艘

但
長十七尋
橫幅或尋云
瀬加人三尋云

一 播 大小或中

一 巾帆 巾夜

一 沐帆 巾夜

一 櫓 三丁

一 楫

一

一 木炭

一

一 繩

七

一 篷

七

一 急物入かばす

九

一 古網

三

一 麦入かばす

七

一 青入かばす

三

一 釣道入かばす

七

一 壺入かばす

十二

一 四弟入かばす

或拾八

一 釜入かばす

三

一 桶入かばす

七

一 米入かばす

一

一 瓢

四

一 たぬ入かばす

七

一 箆入かばす

十七

- 一 為之小道具入加振す式
- 一 折敷（一）
- 一 拵（一）
- 一 垣（一）
- 一 庭（一）

右の形吉田云々也と色並流後らまも色〇ニと云ハ流流人船具
 并流流〇と云分とと流流也
 〇己七月十日ハ部書後書振台白布を流流流流流流

〇右ノ返書十月言大坂中云云ハ部役ノ書
 〇元禄武己巳年ノ春

元禄武己巳年ノ春 殿様ノ上ノ所ノ書ノ書
 〇此ノ書ハ元禄元戊辰十二月百百百百長列
 〇武助ノ内白石上流寄ノ相親人ノ花野并
 〇此ノ書ハ送書ノ返物ノ書ハ元禄九月ノ書

は身より飲常の沙漏に重し漸に中流に流す
其身より徳物を供して尸入に成す其身より
其後より子の世より久遠に在りて身
傳りて其身を重くして其身を重くして其身
小物より其身を重くして其身より其身を
其身より其身を重くして其身より其身を
其身より其身を重くして其身より其身を
其身より其身を重くして其身より其身を
其身より其身を重くして其身より其身を

返給する物より其身より其身を

一葉の波を返す其身を重くして其身より
其身より其身を重くして其身より其身を
其身より其身を重くして其身より其身を
其身より其身を重くして其身より其身を
其身より其身を重くして其身より其身を
其身より其身を重くして其身より其身を
其身より其身を重くして其身より其身を

其身より其身を重くして其身より其身を

修之延等并去物之亦注紙今及九
之之此後等之也之是也此指禮之

八月廿九日

大之保加預去夜

阿部去後去夜

戸田山城去夜

上屋お換去夜

一筆書及書之の高書去於之也尸之重筆

相那人之死散之屍并去夜之也

川口原丸書之之紙之版之方紙光之方紙之書集

之紙後之丸紙之丸紙之書集之紙光之方紙之書集

付後禮書集之也等并去物之亦注紙

今及去夜之也之之也之也之也之也之也之也

由之之也之也之也之也之也之也之也之也

八月廿九日

河部去後去夜

朝鮮國禮曹參議李

著晚

奉復

日本國對馬列太守平公閣下

緬承

華槭就審

啓居玆必頤慰倍品我

國人民漂到

貴境者輒蒙

拯濟前後

護送非止一再常用感蒙今茲淪死流屍亦如
愍恤至於

帛价領還俾免魚腹之苑幸遂孤丘之願可見隣好之誼益篤

朝廷嘉歎曷有其已

玆貺謹領薄具庸伸回敬統惟

宗照肅此不宣

巳巳年五月 日

禮曹參議李

著晚

別幅

人參壹劬

虎皮壹張

豹皮壹張

白茅布伍匹

白綿紬伍匹

黑麻布叁匹

白木綿拾匹

花帶叁張
四張付油花貳浮

黃毛筆叁拾柄

真墨叁拾笏

際

己巳年五月日

禮曹參議李

春晚

右中書省判事

右中書省判事

去年十二月二十日

毒物ノ事入
書目

一 破損永板之類少

一 小丸木拾九枚 但長弁等入念九人

一 小丸之類

一 さくらり山海之 但損物

一 加海之類 右同

一 本領取之式 右同

一 本領中之式死骸ニ付有

目 此ハ毒物ニ通スル

八月十九日

右ニ本領取之式等也ニ付色之類

死骸ニ付有也ニ付色之類

付若事等ノ事ノ事ノ事

付若事等ノ事ノ事ノ事

写

光陽縣 書目

本縣居洪信名里所志及其所居里而任切隣等招辭是置有亦同朴民

惡物故的實是去平軍牢保人頃下為平彌其兵番有洪信處勿
侵緣由並以牒報狀

金自孝處推問曲折後處置次以同自孝知委上使向

事到付

康熙二十七年二月十五日行縣監金

二月二十七日在營

康熙二十六年十一月日示安所

考丁卯成籍戶口帳內東面第撲山洞里住第三統首鄭檢璉第
五戶左水營軍牢私奴病人居士金自孝年四十九庚辰本金
海主興陽居宣弘赤父私奴自從祖水鉄近貴文曾祖名不知外祖
私奴亂卜母班婢禮日妻私婢長禮年三十九己丑本光陽主光陽
居幼學林水明四祖名不知母班婢春良田卜居相准者
行縣監

石謹陳所志兵隊兵身望納軍牢朴民惠亦上年十二月分身死後

軍牢案未免頃下之時キ使道主上營點考時身死緣由呈狀則同民ス
惡身死的實是去等依願減關亦題辭為白有去乙關記頃下次番為キ
頭軍牢ト喪奉鶴處身給為白有如乎至于今者上營時出關是如採此チ
上納亦為白卧乎所兵身極為悶望為白去乎右良如此情由乙萬ズ
分參高當初前呈町志喪奉鶴處推尋詳細相考教是後同ト
朴民惠關減除事積善行下為只為ハ百言入言馬公守出
行下向教是事ト使道主上營點考時身死緣由呈狀則同民
使主處分詳々の事又曰高教上同訓旨詳々二教旨神會高教

文長十一月日行志

石流寺の碑に花散并和道具東長寺の分中身
子内た中花解り細色し中ら於乙中流寺
社元教しと乙儀に元教す由乙長寺の分
中身元教しと

十二月二日長寺の乙武部治備中言乙流寺
白ろくし御流寺分破換和道具分乙并
死人形并
一破換和板之敷少く乙乙
一小丸本拾九中流寺の事一從長寺人乙九乙乙

一 小人の袖をうらさくらののしほを磯に打ちあふ事
但し物

一 かみとまう右目の

一 毛をいりしりまう目の

一 死人を人海にふるまきくお人お神

皮を髪毛もぬけ髪もぬけ事

但し甘きる夜敷き事

二

十二月の長つ玉に或船おの舟なう

尸骸を流あし死人形舟并夜敷甘き

一 死人を人お神の皮をぬき髪毛もぬき

毛をぬき皮をぬき事

一 本線巾を或る死人に甘き

三

毛をぬき皮をぬき事

毛をぬき皮をぬき事

一 帯の皮をぬき事

一行法師の遺言に於ては

一、此の如く河を渡りて

ふと

石破換船の道具死人松井并衣次等

一、此の如く河を渡りて

夜

十二月

己十月方七旬お換船松井白河寺書生等

新編御成帳松井白河寺書生等

御成帳

○ 古くは松井白河寺書生等

御成帳

賞

此は松井白河寺書生等の御成帳に於ては、
此方の法儀文、或は是の字未定、不疎中松井等、
伴縁松井法用人松井茂明三浦内苑元治等也

一切支丹宗の御成帳

先年御成帳の御成帳

私領御成帳の御成帳

下二ノ事是宗致奏議以爲之小書成之時
ハ其由事

一 古切支丹之類族ニ其母ハ常ノ汗珠露波
子ニ由リ存中事

一 頃中ニ其母ハ常ノ汗珠露波
ハ其母ハ常ノ汗珠露波
ハ其母ハ常ノ汗珠露波

元禄貳巳年九月廿七日 宗對馬守 府下

小幡ニ由リ生ハ
友之任候者及

小幡ニ由リ生ハ
友之任候者及

右ニ由リ出候ハ其母ハ巳年十月十日浦見
相承付料紙奉出由候ハ其母ハ巳年十月十日浦見
由人ハ其母ハ巳年十月十日浦見

元禄式巳年

西夜より著るの日の後必譯友

抑念の鄭判事一由使渡海に礼曹急議分書

多しと由務上府大旨の旨付の連法并河部

其後与依りて定法立久散し同平上府大旨

河部其後与依りて定法立久散し同平上府大旨

お係物系仕り判人中村津美つて改向後其と由

之趣りて連書務并其後与依りて定法立久散し

深らりて定書つて其後与依りて定法立久散し

其後与依りて定書つて其後与依りて定法立久散し

物系仕り方と其の物物系改りて定法立久散し

月書役とつて久らりて定法立久散し

海老らりてお後其依りて定法立久散し

写并りて定書物系其とつて定法立久散し

一 字 改 替 之 由

云口候之河極短然之待成法に在りて思

同如之及も好し物も如人例候御親也

譯友安使海海去于二月為府上系著
仕今廿二日波島向一知彼出江靜遠之
尸後海之江礼曹系識之由首各役之
君之之此後四下之費之在之其後

十月十日

大原加賀守役

阿部忠房守役

戸田山城守役

山田守役

二言役之沖城始能之其之其之其之
其後次清之其後清之其後清之其後清之
其後清之其後清之其後清之其後清之
其後清之其後清之其後清之其後清之
其後清之其後清之其後清之其後清之
其後清之其後清之其後清之其後清之
其後清之其後清之其後清之其後清之
其後清之其後清之其後清之其後清之

十月十日

河部豐後

注礼曹参議

朝鮮國禮曹参議安 如石 奉復

日本國對馬列太守平公 閣下

即惟新秋

興居迪吉瞻企實切

征盖自

東武還例有專介之憑

候茲遣象官庸申隣好之舊儀土品雖薄亦希

莞留不宣

己巳七月日

別幅

人參伍勛

虎皮參張

豹皮參張

白苧布拾匹

白綿細拾匹

黑麻布拾匹

白木綿參拾匹

花席拾張

四張付油菟五部

霜花紙拾卷

花硯參面

黃毛筆參拾柄

際

己巳年七月日

上之之人

對馬島由由之由嘉必注物難國譯友由使對
島後之三月十日對府波系者同力之對馬島
島向仕之如故至江靜德之島一後步江禮曹
島識之虫籠之九之島一後委細中一之島

六

宗對馬島

同年人參之儀胡難之島道之島之島也
返等沖由之島之島越此返路之島向部島後島
妻島之持系仕之島一之島一之島之島也
前之島之島後島之島之島持系仕之島中人中村
海島之島之島向後之島之島之島之島也
海島之島之島之島後島之島之島之島也
系之島之島由島之島之島之島之島也
之島之島之島之島之島之島之島之島也

文如身下有在也若夫必言其下事下否也後處
其何之其言其言其言其言其言其言其言其言其言
其何之其言其言其言其言其言其言其言其言其言
其何之其言其言其言其言其言其言其言其言其言
其何之其言其言其言其言其言其言其言其言其言
其何之其言其言其言其言其言其言其言其言其言
其何之其言其言其言其言其言其言其言其言其言
其何之其言其言其言其言其言其言其言其言其言

朝鮮國禮曹參議姜

世龜

奉復

日本國對馬列太守平公閣下

槎便帶

書具悉

冲裕慰沃良深

委示參貨一節非不知

辭意之懇至而事有所次第難強副者人參雖產於我

國本来稀貴曾前許採之時則猶有餘儲可以推移每當求買

無不淮許者蓋出於善隣之義也此年以來其種絕少且或有
奸民生事之患不得已嚴加禁防

本國藥餌亦患難得從何求不見以副

勤眎惟此人參或許或不許隨其有無非欲靳惜事勢如此
茲孤

盛意想惟

恕諒弊產雖薄略申回敬不宣

己巳八月日

禮曹參議姜

世錫

別幅

人參貳劬

豹皮壹張

白苧布伍匹

白綿紬伍匹

黑麻布伍匹

白木綿貳拾匹

花席伍張

四張付油范貳部

黃毛筆一叁拾柄

真墨叁拾笏

際

己巳八月日

禮曹參議姜

世龜

一筆波世之公為最尸之公通人參之

先之復委細家身之公尸之公之抑

二月廿二日

阿訖豐後書

笑人

先頃也尸之公近年人參之兼一符也
賣出之依胡解也尸之公曾了後如以
近曾為身仕之由故尸之公之入公也

吾々此の世に在りては、おぼしき事なきを、
記す。

上之入

近年、人々の言ふ事、皆そと異なり、
亦て、
なれば、
之れ、
公の御座りし、
かき、

公の御座りし、
公の御座りし、
公の御座りし、
公の御座りし、
公の御座りし、

惟れ、
吾、
日、

日、
一、

一、

上之入

宗制馬
平田

望む、

中、

之外務系番細立の事一越後後志、了りし
事より揚系仕一人参之通稿、此方、信九郎
百部方、行成、入、務、人、遊、ら、必、し、番、細、て
一、事、也、事、中、信、九、郎、揚、系、仕、の、由、等、と、由、所
二、所、書、に、揚、系、仕、の、信、九、郎、と、由、等、と、由、所、後
一、所、信、九、郎、遊、ら、必、し、番、細、と、由、等、と、由、所、書
一、所、由、所、書、と、由、所、書、揚、系、仕、の、由、等、と、由、所、書
一、所、由、所、書、と、由、所、書、揚、系、仕、の、由、等、と、由、所、書
一、所、由、所、書、と、由、所、書、揚、系、仕、の、由、等、と、由、所、書

一切支丹宗門論義の事一解意、余、以、相、改、作
一、先、年、之、論、宗、門、論、義、及、書、之、執、事、相、守、私
一、領、中、之、事、也、之、事、也、事、中、之、事、也、
一、と、是、亦、改、論、議、の、事、也、不、審、故、志、也、
一、古、切、支、丹、之、類、族、之、者、共、常、之、評、疑、義、成
一、事、也、事、中、之、事、也、

一、領、中、之、事、也、事、中、之、事、也、事、中、之、事、也、
一、事、也、事、中、之、事、也、事、中、之、事、也、事、中、之、事、也、

達事

以上

元禄三年庚午二月十三日

宗對馬守沖根判
沖根判

右之江守殿

江守殿以上清龍女

小幡守殿

守殿以上清龍女

右之江守殿

右之江守殿(お徳也)紙とせし書之上色も同紙

一 沖根判 真之字 / 古文之字 / 古之字 / 古之字 / 古之字 / 古之字 / 古之字 / 古之字 / 古之字 / 古之字

右之江守殿 沖政 お徳也 紙とせし書之上色も同紙

とす可也

一 口之免之字 今友之字 去年 伊豫守 秋山 用人 杉原

秋山 守殿 秋山 守殿 秋山 守殿 秋山 守殿 秋山 守殿

一 奥之江守殿 二日 達と有之 亦下と上と何字の書哉

如申之 右用人 秋山 守殿 秋山 守殿 秋山 守殿

秋山 守殿 秋山 守殿 秋山 守殿 秋山 守殿

秋山 守殿 秋山 守殿 秋山 守殿 秋山 守殿

分して下るといふ事なり能く下るといふ事なり
中書中書下中書達と例年通して思ふ事なり

一 類語者大と小とあり字入る事係事係し
要及する事と字除者長と徳下能中付是示高年

分除之也

一 沙龍文上月下月と年月付る事係事係し右と通付あり
沙龍文徳重一上月下月と年月付る事係事係し
多事口持系差入る事細より年月付る事係事係し

元禄四年...

紫本...

去年...

者...

...

...

...

...

...

極上之... 夢... 宜... 處... 處...

... 夢... 宜... 處... 處...

... 夢... 宜... 處... 處...

... 夢... 宜... 處... 處...

一... 夢... 宜... 處... 處...

... 夢... 宜... 處... 處...

... 夢... 宜... 處... 處...

... 夢... 宜... 處... 處...

... 夢... 宜... 處... 處...

... 夢... 宜... 處... 處...

... 夢... 宜... 處... 處...

... 夢... 宜... 處... 處...

... 夢... 宜... 處... 處...

... 夢... 宜... 處... 處...

... 夢... 宜... 處... 處...

人深寶貴
河部豐後
戶田山城
公成相模

以部豐後

山崎豐後

朝鮮國禮曹參議姜

親

奉復

日本國對馬列太守平公 閣下

槎便飛來

華翰隨至就審

興居對時益珍慰沃良多我

國濱海之民漂入

貴境輒蒙

拯濟常用感荷今茲漂抵十三人口

另加顧恤優給衣糧緝理舟楫煩

休讓還益見隣好之誼久而采篤也嘉歎之餘欣謝曷已別幅

多儀尤感

盛春不腆土宜略申回敬不宣

辛未年三月 日

禮曹參議姜

覲

約數 滄人 呈虫

一 我十三人 者約數 此令羅乃 均均

家此 約數 滄人 呈虫

故 洋中 才古 台好 道同 均均

巾 凡 白 障 別 角 醜 焉 均 均 均 均

子

一 障別 滄者 仁公 日 均 均 均 均

或 障 之 七 之 均 均 均 均 均 均 均 均

子

一 我 家 否 釋 迦 銀 色 均 均 均 均

我 之 均 均 均 均 均 均 均 均 均 均

又于紀系并海系以約方續者

一我濟州 漢者 漢日 漢者 漢者

漢者 漢者 漢者

年四

月二十八

月二十九

月三十

月一

月二

月三十三

月二十八

月二十九

月二十九

月四十五

月二十三

金南約 金起錫 金太元 金成 金連 金石 金武 金儀 金由

合十三人

九林三侯年十二百廿六

光

一 釣松松之艘

七十の
換三の
深の天守

一 橋大小中

一 網二房

一 檣波丸

一 当の板七枚

一 松板七枚

一 掛七枚

一 松凡木十中

一 白木綿中七枚

一 斧三

一 木紐七枚

一 細之糸七 口おまのり

一 洗のそ夫小卒

一 古名入数

一 粗き感

一 麦平石

一 休二

一 輪を

一 谷夫小二

一 桶四

一 盤夫小二

一 とおのそ

一 米碗夫小十を

一 皿夫小七

一 舟の版四

一 舟のそ一

一 舟のそ一

一 道六

一 舟のそ

一古箱二口管及...

一柳之り七

一酒利四

一之

[Faint bleed-through text from the reverse side]

元禄四年未年同八月九日法皇書

阿部豊後守信白圖書於本寺

之山胡群深氏之返方并和具若

物付右沙業内之筆迹一通

本寺書院持系之方山山如左

而後中在丁之去方之山高王

之申如又禮封列之深志住之

胡群之送志之信之波玉之

列幅二若右之字或每胡群人

人教付船中... 卷切... 以方... 紙... 同... 之外... 交通... 下... 老... 書... 為... 中... 運... 記

一筆... 至... 則... 胡... 人...

彼王日送在申信之埃禮曹參議
事奉往公返翎二返并到福澤人
只之書形中若何切之書付澤氏之
在平澤之公之不和付須利紙之公
之指澤氏之

七月十九日

大司果加實守承
江表豐之埃守承

大回山城守承

大屋相讓守承

之津中

江表豐之埃守承

以原各在之公守
如以之守承

從禮曹參議之返駭尤記之

朝鮮國禮曹參議安 如石 奉復

日本國對馬列太守平公 閣下

搓便遠届

華札鄭重備諳

興居迪吉慰沃良深我邦漢人漂入

貴境輒蒙津遣常用感佩今此前後三船十五合

另加顧恤優給衣糧全其性命煩

价護還

內國目子一頁

左右誠信之篤嘉嘉歎之餘欣謝采源

珍貺謹領薄儀回敬統希

崇亮不宣

辛未年五月日

禮曹參議安 如石

右別幅有之書簡二本左別幅同前右真記置之

朝鮮國禮曹叅議安 如石 奉復

日本國對馬列大守平公 閣下

風颿借便

寄价帶信憑心諦

興居清裕良慰遠情弊邦濱海之民漂到

貴列者前後二船十八人口幸荷

軫念給與衣糧緝理舟楫俾得生還益見交好之至意區區

曷有其已况此

稱謝

盛眷不勝別幅庸表回敬統希

宗亮不宣

辛未年五月日

禮曹叅議安 如石

別幅

人參壹筋

虎皮壹張

豹皮壹張

白苧布伍匹

白綿紬伍匹

黑麻布叁匹

白木綿拾匹

花席叁張

四張付油芫貳部

黃毛筆叁拾柄

真墨叁拾筒

辛未年五月 日

禮曹參議安 如石

一 正字之書元記

賞

一 朝鮮國皇列之月十日ノ十日ノ所

漢氏九人私去被之系對列之月佐護

郡漢浦、去年十一月廿八日漂着

一 朝鮮國蔚山之月牧場之浦所之漢氏
九人船之艘。宗對列之月佐波那
佐須宗浦。去年十二月十三日漂着
一 朝鮮國定日郡之月ヨクニウ之浦所
漢氏三人船之艘。宗對列之月
豊津河那野浦。當年正月八日漂着
一 朝鮮國蔚山之月イルサ之浦之浦所
漢氏七人船之艘。宗對列之月吉野
一 朝鮮國蔚山之月セウシ浦之浦所

漢氏五人船之艘。宗對列之月豊
津那之浦。當年正月十四日漂着

上

七月十九日

宗對馬守

在湯之元之書。宗對馬守切紙。お徳之とてな書色。メ
貫書。之とて也。但書。之とて。是書相法。之とて。
以書。之とて。是書相法。之とて。

朝鮮漂流人口と書

一秋九人との朝鮮国共々高道早列の角
チヨリノチウと申すは漢氏との年十月
廿七日の船を艘と申すは船名也
俄途人風其夜海と申すは海也
對列の角漢浦と申すは漢浦也
漂流人名歳寸

同四拾五

船名

カフサシ

同五拾五

チヨリノチウ

同四拾七

ホグニイ

同四拾三

スリイウ

同廿八

チヨリノチウ

同廿五

カムサシ

同拾七

ソシムウ

同拾五

イルソイ

合九人

光

一 胡解船之艘

長八尺五寸
横三尺八寸
深三尺八寸

一 檣大小式并

一 桅式并

一 櫓式并

一 帆式并

一 五挺式并

一 海のこま式并

一 糸起九并

一 土人との女式并

一 切細式并

光

元禄三年辛酉年十一月十六日

胡解漂流人ノ手書

一 種ノ九人ノ後胡解船主高道春山

船主七ノ子ヤクシロ市ノ漢氏ノ手書

三月廿一日の如記を致し、米穀を給ふ
子等、中、心、俄、人、西、月、を、女、及、法、橋
院、橋、一、千、夜、深、洋、中、由、之、千、年
刻、封、列、向、法、橋、系、浦、深、名、江、の、

深、院、人、石、蔵、村

書、以

イ、ハ、ニ

年、早、稻

田、五、拾、八

コ、十、キ

田、十、五、拾

ヲ、ビ、ス、イ

田、五、拾、八

ヲ、ク、シ、ニ

田、早、九

ミ、シ、カ、イ

田、早、七

ヲ、ス、キ

田、早、六

ヲ、ト、ニ

田、五、拾、八

ク、ム、ス、リ

合、九、人

完

一、畑、耕、作、致

長、七、尺、三、寸、八、分、寸

横、八、尺

深、三、尺、八、寸、寸

一 櫓六式部

内五部接也

一 帆二池

一 櫓六挺

一 本段を

一 水俵を

一 舟人繩四部

一 船三百石

一 船の

一 船丁七枚

一 船の

一 船の

一 船の

一 船の

一 船の

一 船の

元禄二庚午年十二月十六日

朝鮮漂流人日記書

一 被く之人は度高道延日取心
ヨクニウレモヤシ漢氏之法
言旨為船廻道内行
中折石之人大陸の子紙紙を被
相調回旨後下若航は少又微風烈
変は吹放洋中三日深回白中
河對り内解浦便と記中事

漂流ノ人載付

歳六拾二

同六拾七

同六拾八

合三人

先

ホカイカム廿三ノ

三ノ八キ

一 船辨紙を被

一 橋式巾

一 帆式張

長七尺貳寸

横七尺六寸

深三尺九寸

- 一 楫を五枚
- 一 樽之徒
- 一 布卒包を
- 一 布袋を
- 一 毛帽子を
- 一 小口を

己上

元禄己未年正月十日

御奉行 高田道助

御用 漢民の者

取立 御用

西月 強及 難及

御用 漢民の者

御用 漢民の者

同六拾八

同六拾八

同二十七

御用

ツカイ

ヤラシイ

ハツサイ

回二十一

ハクセニイ

回十八

モクトキ

今人教の人

元

一 船形を敵

長七尺武人

横七尺守

深三尺守

一 櫓式

口を中務也

一 帆式

一 櫓式

一 蓮式

一 艦式

一 水行

一 網を

一 如神の飯

一 回糸

一 湯

一本沖き

一 〇〇〇〇づら十部

一 細門 銭十十六部

己上

元徳元年 平定川上白

朝鮮酒流人 〇〇書

一 彼七人 〇〇朝鮮 〇〇高道 〇〇

〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇

〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇

〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇

〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇

〇〇

金〇〇〇二〇

金〇〇〇二〇

金〇〇〇二〇

金〇〇〇二〇

金〇〇〇二〇

金〇〇〇二〇

〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇

〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇

〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇

〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇

〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇

〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇

目三十五

今人数七人

全カケ十

元

一 鋼鉄船を破

長七五尺
横八尺寸
深三尺寸

一 橋式舟

一 帆式張

一 船式舟

一 帆式の破

一 船式舟

一 船式舟

一 船式舟

一 船式舟

一 船式舟

一 船式舟

一 船式舟

一 更りていそ

一 久人 繩十二節

一 庖丁 武技

己と

元禄己未年丁酉月十日

一切支丹宗門流初く母皇憐念今心相改

河相守私領中とて先は

忠事者りて先亦改金議の事

不害故元母の事

一 古切支丹の類族者共常く行跡

疑者故母の事

一 領中とて市忠事者りて

其姓以後不害如名於有

中事

心

元禄四^{辛未}年九月九日

宗對馬守^{宗對馬守}

友堂^{伊豫守殿}

小幡^{三右衛門殿}

一石^之龍文^{と書}紙^に用^はす^に由^り御^判紙^に用^はす^に由^り

古^色紙^に用^はす^に由^り御^判紙^に用^はす^に由^り

や如^城油^を用^はす^に由^り御^判紙^に用^はす^に由^り

御判紙に用はすに由り御判紙に用はすに由り

一元禄五^{壬申}年八月四日朔^朔鮮國^{松島伊豫守}

沙^領門^備初^墨山^記一艘^{漂流}付^同六月

十九日^訂部^豊後^宗欣^并沙^月苗^之田^山城^松

御^判紙^に用^はす^に由^り御^判紙^に用^はす^に由^り

一沙^口と^書に^用は^すに^由り^御判^紙に^用は^すに^由り

口上之元

松平信祿等領内浦衣懸山航一艘十七張帆航
舟吏夫三十二人乘津輕舟如欲出高島四月
廿二日懸山航舟月朔日長列赤方園舟航
同日同所航往不支又東風烈三日三日漂
洋中同宿日胡群因牧漁舟中可洋掛后
少と物地差重く家本者大漕航救艘
航之日日之米多と浦舟中漕入番人
と對列と者浦舟相改別條航舟と
先規通大坂町沙並行航と使衣衣派送舟
航と今及出許舟並作別條人とい書積物
舟と舟航中相舟子形航舟子形官別條書舟
入寺接見作舟と

六月十九日

宗對馬守

右形台置紙。お雨あふ流紙ととも色い。一也
と色上と。口上之元書
宗對馬守と書之

一 漂人之事書其記（并積物之由）與義有之

口上之免

我之儀松平伊豫守領内御外是山寺也
名之曰寺之津松越中寺依許弟記貨積之
法合住津松之寺哉心高与取以本寺大十三之
宗總去四月廿二日是心船住高月朔日長列
亦乃園口着船回二日亦同園口帆住如東風
別胡舞也漂者信之宗自之胡波也
十三人太之強去言宗与津所之寺能文也
高寺重之寺只今寺外可持住者寺也

備前國是山寺船十七諸帆若取積在也

長十五尺

深廿七寸

横四尺五寸

積物

- 一 漆 五分
- 一 刀 寸柄
- 一 脇差 寸柄
- 一 短 四寸俵
- 一 本 綿 貳百端
- 一 七 鴻 二十寸束
- 一 紙 六丸
- 一 繼 衣 丈二束

但衣束百五冠

右通被長作

元禄五申年二月九日

去言宗西寺檀好 小松原物尺五寸下

沖形以

水支

右部衣束

化衣

六尺束

尺

尺

尺

河改役元中

日
日
日
日
日
日
日
日

七
七
七
七
七
七
七
七

一 祀子形之官に就く

先下口大坂若山雇祀之事

一 御前墨山御前御之殿

祀以の吏
十二人乗り

廿五亩御米六百三十石積

外運賃米百石付拾六石五分宛

祀足中槽床より下分水きり三十七寸

蘇少沃水卜至六月自是限
什河前浪七百拾六日候海人

石水道具

一 楫 走形

一 板 棹

一 桡 同

一 抄 帆 竿 總 之 房

一 榜 總 四 房

一 碇 碇 七 頭

一 檣 永 走 駛

右、拉蘇、少沃、水、法、道、具、等、人、各、以、成、各、
抄、之、海、前、有、古、一、以、下、山、下、其、久、水、船、
以、少、少、成、抄、道、法、水、船、是、以、水、道、
船、以、少、成、抄、道、法、水、船、是、以、水、道、
積、在、酒、子、法、事、掛、物、此、方、攝、法、是、以、
若、水、西、浦、水、氣、入、中、中、其、建、又、通、之、

弘治丁亥仲夏月廿五日

田中玄成

元禄六年甲申二月廿日

丁子屋常業

佐友若六

蘇之次

江户元年

一船中... (vertical text on the left edge of the right page)

倭國... (main vertical text on the right page)

松平... (vertical text on the right page)

元禄六年甲申二月廿日 中村玄成

所

江户元年

右之通 中唐氏 豐一色 大之書 烟化
右之通

漂流人之書 禮物 舟 船 中 烟 化 船
船 中 船 之 字 之 通

右之通 中儀 中儀 中儀 前 船 中 儀 船 中 儀

中儀 中儀 中儀 中儀 中儀 中儀 中儀 中儀

中儀 中儀 中儀 中儀 中儀 中儀 中儀 中儀

中儀 中儀 中儀 中儀 中儀 中儀 中儀 中儀

中儀 中儀 中儀 中儀 中儀 中儀 中儀 中儀

中儀 中儀 中儀 中儀 中儀 中儀 中儀 中儀

中儀 中儀 中儀 中儀 中儀 中儀 中儀 中儀

中儀 中儀 中儀 中儀 中儀 中儀 中儀 中儀

中儀 中儀 中儀 中儀 中儀 中儀 中儀 中儀

中儀 中儀 中儀 中儀 中儀 中儀 中儀 中儀

中儀 中儀 中儀 中儀 中儀 中儀 中儀 中儀

中儀 中儀 中儀 中儀 中儀 中儀 中儀 中儀

心在... 幼... 一... 河... 每... 年... 集...
付... 每... 一... 集... 文... 公... 之... 也...

元禄五年壬申年南蛮友胡野合松平

伊藤与佐山经内浦和尾山松野河漂流

顺六月十九日河野与佐山经内浦和尾山松野河漂流

山城与佐山河野与佐山经内浦和尾山松野河漂流

胡野与佐山经内浦和尾山松野河漂流

书籍并物野合松平人 上卷与物

出付家集 裁编样分法以事书法

延同年八月廿六日南河野与佐山松野河漂流

杉村与佐山松野河漂流

河野与佐山松野河漂流

延同年八月廿六日南河野与佐山松野河漂流

别与松野河漂流

四月南河野与佐山松野河漂流

人船中積物之書付舟船以書存
系一書付舟船以書存
以之係書付舟船以書存
也積物之書付舟船以書存
付舟船積物之書付舟船以書存
有之舟船以書付舟船以書存
舟船積物之書付舟船以書存
舟船積物之書付舟船以書存
舟船積物之書付舟船以書存
舟船積物之書付舟船以書存
舟船積物之書付舟船以書存

三三三

先頃同氏對馬守不棄舟中
伊豫守領內備前守不棄舟中
國之內收為舟中不棄舟中

吾輩の家来と云ふお附六月廿四日
波島船の係る漂人并船中者宛有
申渡波島係る書物は如疑致致す
心在い付らん想く使使心お副今度
坂町よりと送せといふ漂人胡船
及び此の禮曹参議より書翰并波島
方漂人白紙の書物別紙に書付
御披露
此の書物切徳このありしは

石巻市史
白紙の書物と云ふ一
御披露

胡船方漂人白紙の書物と云ふ

白紙拾欠

白紙の尾

書奥の音

耳替の味

菅の竹

垣 武外容

際

辛卯六月日

東業

白草拾卷斗

大上真 小尾

乾真 小穿

耳將 小穿

藿 小穿

白草拾卷斗

辛卯六月日

東業

白草拾卷斗

大上真 拾尾

耳將 拾卷斗

耳將 拾卷斗

藿 拾行

垣 小穿

際

東業

壬申二月廿日

東萊

大上魚 拾尾

乾魚 拾尾

耳將 壹斗

美油 叁升

白蛤鹽 壹斗

塩 叁升

白米 壹拾壹斗

紫

壬申二月廿日

東萊

白米 壹拾壹斗

大上魚 拾尾

耳將 壹斗

美油 叁升

白蛤鹽 壹斗

塩 叁升

藿 拾斤

乾魚 叁升

踪

壬申六月日

白羊拾叁年

大上莫八尾

乾莫 穿

三冲 穿

耳臂 穿

白蛇盤 穿

龍 穿

踪

壬申六月十七日

衣資公年拾叁年

波海權年捌拾年

踪

壬申

東業

牛莫八尾

胡凡貳拾箇

葱 壹把

芹 壹把

菁 壹把

醬油 壹瓶

燒酒 壹瓶

炭 四石

漿 壹斗

壬申六月二十七日

朴同志

水 壹張

其荒肆拾箇

生鯛 叁尾

生廣魚 叁尾

柏子 壹斗

胡椒 叁斗

黃粟 壹斗

燒酒 壹瓶

際

辛酉六月二十三日

朴同念

上

石書物一書付石書物一書付石書物一書付

胡解書一書付 遺書物一書付

石書物一書付 石書物一書付 石書物一書付

石書物一書付 石書物一書付 石書物一書付

石書物一書付 石書物一書付 石書物一書付

石書物一書付 石書物一書付 石書物一書付

石書物一書付 石書物一書付 石書物一書付

石書物一書付 石書物一書付 石書物一書付

石書物一書付 石書物一書付 石書物一書付

押紙一書付

石書物一書付 石書物一書付 石書物一書付

石書物一書付 石書物一書付 石書物一書付

石書物一書付 石書物一書付 石書物一書付

為梅少平判之

梅少平判之

梅少平判之

南唐書對列之

胡鮮人

各議

海

上

中

下

右

人

者

宛

和

如

必

上之覽

朝鮮國去高道之東某年三人
巨海之內長年浦之志人令為壞矣
回航八月東某年書按九月長年浦日
正某年八月自知世浦言東某年
改地本備回航之刻遭難風二月智
對列之內津法某浦某道白漂於上某
漕船被擄也之國東白漕入乘船被擄
同始難也

九月六日

宋石某年

朝鮮漂流人上書

我之儀朝鮮王慶尚道之內東某年巨海
之內長年浦之志人令為

増質回方三月月夫自東業也其始九月
 長事浦也其終正月月夫自東業浦也其終
 増打網以水之船と傳り増之九月月也其
 商賣波水も船はと傳り送風在右之浦也
 庚之増也其年之刻も船はと傳り又巨海
 如徳之るるる之風也其始放地方の漕舟
 中故不之及及難成也其船中積むるは
 増之拾俵も其海也其拾之巨海漕流
 色は漕舟も其始也其漕舟も其始也其漕舟も

浦白漕入 抄下也

漂流人若年歳付

- 一 考高同也三月末業也其歳年六キムクナ
- 一 同巨海也三月末浦也其同中一キムソリヨク
- 一 同以
- 一 同以
- 一 同以
- 一 同以
- 一 同以

同中一イセコイ
 同中一イトクハル
 同中一キムソレ
 同中一イサレイ

漂流船寸人 船具等物

一 船 長八尺 横二尺 深六尺

一 播 式 中

一 帆 式 法

一 楫 式 舟

一 櫓 式 挺

一 加 升 式 挺

一 蓬 式 板

一 小 船 式 舟 長七尺 横二尺

一 歩 板 式 板 長三尺 横二尺

一 端 式 舟

一 石 鼓 式 舟

一 水 桶 式 舟

一 か 口 の 舟 式 舟 蓋 有

一 同 船 式 舟

一 板 式 舟

一 皮 蒲 團 式 舟

- 一 推草 七斗
- 一 多尾粉 五斤
- 一 干貝 或升
- 一 干和布 或斤
- 一 海苔 九十枚
- 一 柳 二十枚
- 一 白芥 五挺
- 一 白芥 五挺

元禄五年二月廿二日

石川の書肌若紙。お徳と度成之
 年と色。の書と徳と

とと元と虫
 宗石京守

酒造人の書若紙。お徳と度成之
 望紙一紙。お徳と度成之
 と虫と徳と

胡解澤流人の書若紙。お徳と度成之

。法書稱心則在書之幅也。人之言。其入
。卷之上。心平則其下。心平則其下。心平則其下。
。胡辭。古之書。其心平則其下。心平則其下。
。心平則其下。心平則其下。心平則其下。
。押紙。同。名。乃。其。也。

朝鮮國之漂民送。而。其。禮。曹。義。回。查。書。翰。之。別。幅。

一。口。入。其。心。平。則。其。下。心。平。則。其。下。心。平。則。其。下。

古之所謂。心平則其下。心平則其下。心平則其下。
私事。心平則其下。心平則其下。心平則其下。
心平則其下。心平則其下。心平則其下。

一。古。切。又。舟。之。類。族。者。其。常。之。行。跡。疑。難。及。
其。心。平。則。其。下。心。平。則。其。下。心。平。則。其。下。

一。領。中。古。之。事。其。心。平。則。其。下。心。平。則。其。下。心。平。則。其。下。
下。其。心。平。則。其。下。心。平。則。其。下。心。平。則。其。下。
其。心。平。則。其。下。心。平。則。其。下。心。平。則。其。下。

上

元禄五年十一月十二日

宗石京全御掛判

御掛判

前由安藏寺殿

小幡之御掛判

右之龍文行村燈取御掛判之御掛判之御掛判

御掛判之御掛判之御掛判之御掛判之御掛判

御掛判之御掛判之御掛判之御掛判之御掛判

御掛判之御掛判之御掛判之御掛判之御掛判

御掛判之御掛判之御掛判之御掛判之御掛判

御掛判之御掛判之御掛判之御掛判之御掛判

御掛判之御掛判之御掛判之御掛判之御掛判

御掛判之御掛判之御掛判之御掛判之御掛判

御掛判之御掛判之御掛判之御掛判之御掛判

御掛判之御掛判之御掛判之御掛判之御掛判

御掛判之御掛判之御掛判之御掛判之御掛判

御掛判之御掛判之御掛判之御掛判之御掛判

三秀浦者... 道... 祠者... 茨... 示... 茨...

三秀浦

茨...

一... 示... 茨...

... 茨... 示... 茨... 茨... 示... 茨... 示... 茨...

朝越國梁道角三跨浦廣
介人如一艘高理去日寸
漢之如也遺匪風洋中
漂因女乃方控年月路與
唐清浦海之公地之月路
方卜亥類如也傷年約不
以送布一知其人角之入案
病死法公收地也之年の
收國同利部痛方之送雲
海之波禮曹奏議在商公
波年來有月為收月見指
是五名第月如之奇地
然之月指之

十二丁女二

京村馬三

船解津人望之

秋之六
者船能出深道之

那
之角
之海浦漢氏白

船一艘
之船白船女去年

少
之厚
之刻
比
之室
德

中
之知
俄
小西
風
強
者

池
之
清
方
之
次
能
成
風
流

流
注
洋
中
之
日
船
曾
流
者

之
之
本
海
之
西
二
帶
之
氣

為
風
之
股
之
之
之
之
之
之

取
飲
之
之
之
之
之
之
之
之

秋
之
之
之
之
之
之
之
之

日
之
之
之
之
之
之
之
之

十
三
之
之
之
之
之
之
之
之

之
之
之
之
之
之
之
之

之
之
之
之
之
之
之
之

之
之
之
之
之
之
之
之

望月乃成之刻也果しん付死骸
 と結挿しん付因ふふ名を志
 教、因ふふ。春着は、七海遠海
 中、流、山、車、の、振、流、地、色、の、有
 有、維、年、何、苗、月、の、七、海、教
 中、帆、往、因、十、七、百、封、府、東、志、結、水
 之

流、流、人、名、海、集、村

年、三、十、一

キムトツトシ

同、一、五

リトルヒ

同、三、三

キムキルサシ

同、二、八

キムホサキ

同、七、一

流、往

ホイ十三

船、具、集、村

一、船、板、二、十、二、夜

一、同、か、の、板、二、夜

櫓 竊

得 竊

檣 竊

帆 竊

舩 大小三

箬板 中板

之 木之

木 二

水 二

子 之 艇

約 一 結

約 七 百 年

草 繩 單 等

乞 帽 子 三

皮 為 地 三

本 綿 為 八

同 股 九

皮 之 字 樣 之 字 樣 之 字 樣

一 札之數 世傳其札

之

中
三

○ 卷餘亦復有卷之或入之會

○ 之下二印

○ 箱、鈔、雜、入、甲、付、表

○ 印、判、八、不、

○ 卷、餘、亦、復、有、卷、之、或、入、之、會、

石刻唐鐘浦源著之朝鮮人送屆作付送禮曹參議回卷

書翰各別幅

○ 心、口、手、書、為、厚、紙、

之、書、

○ 心、口、手、書、

○ 漢、唐、人、

之、書、

物能通人 且也 女者兼付好府地音

不也商之百之五方幅之百之五少在去地
中流出之百之五也 女流流
早之若月如其有地 女有留也
乞又也之也 女者流流也

中一 女者不也 物以豐後也
有探必之 女者不也 女流流也
物有是也 女者不也 女流流也
女者不也 女者不也 女流流也
女者不也 女者不也 女流流也

和文

一業 女者不也 女者不也 女流流也
物有是也 女者不也 女流流也

夫者意涉後嫌能成夜方不
 之必如也如子及之果家精言
 得友位之利部痛因也
 亦有有能事好女出及交
 之知也先規之也無方家
 治公方何及諸子下流之
 此彼之命是也治自是控有
 也汝之塊之也

命曹泰判

禮曹泰判
 禮曹泰議

一 元祿六年 去年 刑部右輔以冲隱居治
 就之道云 冲出所家督之相遠之守身以候
 去乃胡解困之位 冲隱居以平田集人
 涉後之意 涉書寫之也 右由隱居
 冲金位禮曹泰判 冲隱居并別幅出金不被

在也海氣之日也上清丹 蘇坡出坡之也
沙部也後之使之為沙部之人之也其部之也其部
蘇坡之沙部之也其部之也其部之也其部之也其部
一日沙部之也其部之也其部之也其部之也其部
之部之也其部之也其部之也其部之也其部之也其部
也其部之也其部之也其部之也其部之也其部之也其部

朝鮮國使禮曹參判回答并別幅

元祿六年歲次乙未年 二月
沙部友之也 作朝鮮沙部友之也 通文
作出作後高表朝鮮出植在後沙部友之也
之沙部友之也 右之沙部友之也 作禮曹參判
通文之也其部之也其部之也其部之也其部之也其部
九月廿六日沙部友之也其部之也其部之也其部之也其部
中沙部友之也其部之也其部之也其部之也其部之也其部
沙部友之也其部之也其部之也其部之也其部之也其部
相後之也其部之也其部之也其部之也其部之也其部

朝鮮國從禮曹參判回春并別幅
朝鮮國從禮曹參判回春并別幅
朝鮮國從禮曹參判回春并別幅
朝鮮國從禮曹參判回春并別幅
朝鮮國從禮曹參判回春并別幅

朝鮮國從禮曹參判回春并別幅

朝鮮國從禮曹參判回春并別幅
朝鮮國從禮曹參判回春并別幅
朝鮮國從禮曹參判回春并別幅
朝鮮國從禮曹參判回春并別幅
朝鮮國從禮曹參判回春并別幅
朝鮮國從禮曹參判回春并別幅
朝鮮國從禮曹參判回春并別幅
朝鮮國從禮曹參判回春并別幅
朝鮮國從禮曹參判回春并別幅
朝鮮國從禮曹參判回春并別幅
朝鮮國從禮曹參判回春并別幅
朝鮮國從禮曹參判回春并別幅
朝鮮國從禮曹參判回春并別幅
朝鮮國從禮曹參判回春并別幅
朝鮮國從禮曹參判回春并別幅
朝鮮國從禮曹參判回春并別幅
朝鮮國從禮曹參判回春并別幅
朝鮮國從禮曹參判回春并別幅
朝鮮國從禮曹參判回春并別幅
朝鮮國從禮曹參判回春并別幅

朝鮮國從禮曹參判回春并別幅

三屏五町倒家之文

合國家昔之拾九斬

月百或拾之斬

長屋

日百拾之斬

福屋

日拾之斬

底屋

日三斬

室屋

日八拾之斬

馬屋

日廿七拾之斬

厩屋

日八斬

長物屋

上

自
七月八日

乙辰日家公風換之沙書也

文

一富六月十日肥前山月私外日基耕養

父西郡右月也中作

一倒家昔之拾九斬

一年馬之換之沙所公

堂

八月十八日

守安野馬書

右馬志海之老波一是卜中表我流

一元祿之般奉八月廿日對列向日奉浦瀨列

徳院之七人系公南京普陀山之般浦之同

月七日唐和浦之沈船之般浦之身沙健之

沙浦之身沙健之

杉村之身沙健之

身沙健之

身沙健之

身沙健之

身沙健之

身沙健之

身沙健之

身沙健之

禮部未唐人亦多矣公亦書別錄當
多公之乃公之位也予亦公之庶幾
況之

八月廿一日

右為保親類也

河氣豐活也

右白之博也

右白相模也

一筆波勢之作去二日對列之門舉浦之

中而江唐船之被波濤是公舟子相尋為之
南京普陀山船沙度公漢列地地之七人
中余長海之海海行而遭難凡黃元或
船江中中公舟之德也亦係今亦三日也
河海津之長對馬之舟之送之公質人

三人等是例五船の業是又警固相附
右同あり事録の船中一人取積也等
唐人等より書并信物人呈書
海軍は多岐と云ふは海軍

八月廿三日

御光中出二人

一河助多路多頃と云ふは

具報 普陀山船主程敏公係南京徽州府新安人于七月

二十日從普陀開駕奉

旨遵部憲裝送日本人七名歸國于二十九日洋中遭遇強

風颶將船頭打壞於八月初二日早飄至對馬州地方迷

失路徑放砲拋旋本船代漳州寺請僧人壹名通船

共計柒拾參人所載白絲紬綾紗緞藥材白糖等貨

隨帶防身兵器大砲貳門百子砲貳門湯力肆把其

船約長八丈深壹丈五尺艙末

王上恩准速撥小船綽送長崎無悞貿易生理通船人

等感德無涯矣

八月

初五日普陀山船主程敏公

大泥船主口書

大泥船船主洪聯官陳鴻官 具報本船長有七丈五尺濶有二丈四尺歷年趙一官發販大泥因造化不就三年難

透長崎至於聯等輪當就壬申年十二月初八日在

寧波發往大泥至今年六月初九日在大泥回棹水

途遙遠延七月十五日遇風收入普陀討水廿四日始得一起身前來因風飄至見山遙遠遇風初七日收

泊此地不知地名但本船所載糖皮絲紬等貨通船客稍共有陸拾陸名望為挈提本船收入長崎港感

八月 日

船主

洪聯官

陳鴻官

客

傅天行

楊成官

大泥船流人口書

神人海濱列地地者少所心宗船才竭帆

少好なるを馬海口の業区に也。作ら

八月廿日

松村大史の口之書

此書は田中が網羅したもので、
その中に「宇野大史の口之書」
とあるが、これは中絶した

口之書

八月廿日、松村大史の口之書、唐船一艘、
波濤を以て舟中、松村大史の口之書、南京、
松村大史の口之書、松村大史の口之書、
松村大史の口之書、松村大史の口之書、

松村大史の口之書、松村大史の口之書、
松村大史の口之書、松村大史の口之書、

唐船一艘、松村大史の口之書、松村大史の口之書、

松村大史の口之書、松村大史の口之書、松村大史の口之書、

松村大史の口之書、松村大史の口之書、松村大史の口之書、

松村大史の口之書、松村大史の口之書、松村大史の口之書、

松村大史の口之書、松村大史の口之書、松村大史の口之書、

松村大史の口之書

松村大史の口之書

八月廿日

一元祿六^壬申年十一月二十一日

慶州地境里... 漢氏八人

漢氏八人... 同方

漢氏八人... 同方

漢氏八人... 同方

漢氏八人... 同方

漢氏八人... 同方

漢氏八人... 同方

漢氏八人... 同方

漢氏八人... 同方

漢氏八人... 同方

漢氏八人... 同方

漢氏八人... 同方

漢氏八人... 同方

漢氏八人... 同方

漢氏八人... 同方

大德、海長、結、在、極、北、方、
長、海、門、結、法、也、宜、封、焉、
送、在、上、波、化、也、送、在、
人、約、言、在、自、私、家、來、之、
刻、如、刻、文、之、波、國、送、在、
波、禮、曹、來、議、也、方、波、也、
依、之、乃、收、見、指、之、也、右、海、
甲、乙、每、年、中、行、地、之、有、
乃、也、

乃、一、方

乃、一、方

乃、一、方

乃、一、方

乃、一、方
乃、一、方
乃、一、方
乃、一、方
乃、一、方
乃、一、方
乃、一、方
乃、一、方
乃、一、方
乃、一、方

疾如搜系繼去年十一月
 六日厚之刻比年東海沖
 漢之系年之西風強而後
 比年唐方成難成洋中
 漂之系之知因乃方未之刻
 出之自人應之冲建臺
 了之疾之知見之冲清和十
 乃搜中知之方應之清也宗
 菜繼一房之知下之因十乃之
 疾之知之知之知之知之知
 十乃之知之知之知之知之
 以乃之知之知之知之知之
 去乃之知之知之知之知之
 未之知之知之知之知之

德流人
 名無策村

歳二十七

ラツニヒ

同二十三

ラツセニイ

同二十六

トワサニイ

同二十四

クムナニイ

同三十

ラツスキイ

同十九

クニニビ

同十八

ホクセイ

同十八

ニ十三イ

流流好寸ノ船具并前船之道具

一 船一艘

七八船各人換八尺深之文字

一 橋或舟

一 帆二枚

一 楫多枚

一 櫓多枚

一 網多枚

一 釣道

之文字

一 吳之大小二
 一 危了之挺
 一 了之挺
 一 木札板 但此集凡

百
 一 了之挺

右之有沙物系... 相...

物解... 尚道... 內慶...
 家去年... 漢氏... 八...
 法... 松... 志... 康人
 付對... 家... 年... 歲...

知承朝拜國送承知流禮
恭儀之長身心來法取志原
氏之口之之安知中亦也音
按承之安及指之之

高樹心音

了了了

杉村文為

而之也其後是為了了了
流心音

一元祿六年正月年一國安於中宗門改
相所身了了了及後前因
安藝之辰小慎高金心路之度
了了了寺因原安為物也指心之之流矣
九死

一切支丹宗門改而之之解矣今指安
了了了
相守私領中了了了

同姓刑部補家奉私象中一者
 卜之之是又沒舍織如石書成
 者之之之之
 一古切之舟之類族者共常以錄
 疑及以之之
 一領中上之市之月姓刑部補家奉
 私象中卜之之之之之
 志以以後之書成者於有之者
 下連年

以之

元祿六年十月十日 宗對馬
宗對馬

花南安氣与飯
 小嶋三郎長飯

右記文
 左記文
 此記文

元文 二六九

一 元祿六年九月三日對列洪水
對中 換七家
少月 青部
相系 公
多家 道
少書 對

書九月四日... 換七家

- 一 概百七拾五俵箱
- 一 蕎麥九十九百貳拾俵箱
- 一 粟貳千一百貳拾四俵箱
- 一 大豆六千五百四拾四俵箱
- 一 小豆一千七百拾俵箱
- 一 芋貳千九拾五俵箱
- 一 黍貳百俵箱
- 一 胡麻百六拾九俵箱

- 一 多事乘務武方四千七百餘行役
- 一 氏家拾武軒流
- 一 花田軒流
- 一 馬倉武軒流
- 一 八八被流
- 一 流死男老入
- 一 牛七丈馬四疋流死

十二月朔日

宗對馬守

元禄六癸酉年二月七日朔解國云馬道
 内慶州地境里之漢民九人八一艘三乘
 漢民被劫去及多致成風回九百長列南角流
 漂去其色利果曹古存亦長流川上
 按津古存心長對古存亦古存亦古存地
 古存亦心陰藏物解人 緒年古存亦古存亦
 古存亦古存亦古存亦古存亦古存亦古存亦
 古存亦古存亦古存亦古存亦古存亦古存亦
 古存亦古存亦古存亦古存亦古存亦古存亦
 古存亦古存亦古存亦古存亦古存亦古存亦
 古存亦古存亦古存亦古存亦古存亦古存亦

流禮曹參議也籍為年付元祿七年

正月廿七日流中江邊少行勤學境守候

也其年也籍之子漂民之口年書年付船中

為籍之書付之子也居為也之在也籍之介

書付之子也居為也之在也籍之介

為籍之書付之子也居為也之在也籍之介

為籍之書付之子也居為也之在也籍之介

為籍之書付之子也居為也之在也籍之介

為籍之書付之子也居為也之在也籍之介

為籍之書付之子也居為也之在也籍之介

為籍之書付之子也居為也之在也籍之介

為籍之書付之子也居為也之在也籍之介

為籍之書付之子也居為也之在也籍之介

為籍之書付之子也居為也之在也籍之介

為籍之書付之子也居為也之在也籍之介

為籍之書付之子也居為也之在也籍之介

為籍之書付之子也居為也之在也籍之介

戊子

戊子

戊子

戊子

戊子

戊子

戊子

戊子

戊子

戊子

戊子

戊子

戊子

戊子

戊子

戊子

戊子

忠恕堂記

十一月十日

大之保製與古侯
訂勤豐壤古侯
戶向之城古侯
去屋相換古侯

一
河勤豐壤古侯

世順古侯...
沙在右道稱字漂氏...
多保神若物...
古侯...

新編漢書

我之九人者胡鮮也慶尚道...
地境里之漢氏...
苗二月七日...
漢...
西風

江秋洋中漂因九日未...
角治七河...
浦津...
定...
第一...

少業道送成回月九日長崎の
佐々木崎見敷軍二日滞る中
此作月十日長崎表も帆は回九日
對府志記はなし

漂流人若年歳付

歳二十七

回二十七

回二十八

回三十一

回三十二

回三十一

回三十九

回十八

漂流船す人船具并所持の道具

一 船を被長八島守武平横八八守深谷守
一 播武平

イウスイ

クナミ

テニハイウ

ニサシ

テコウリ

イウクナミ

イウハイキ

ウクセイ

一 帆式張

一 楫式柄

一 櫓七挺

一 三子式物

一 三子式物

一 細引七節

一 車籠式繩

一 水掉大小字

一 帆式張

一 小危丁九枚

一 糸折式挺

一 糸折式挺

一 桶式

一 帆式張

一 同糸式八枚

一 糸折式

一 糸折式

一 如白寸 寸

一 四 式

一 小 壘 口

一 泊 纜 之 纜 泊 針 光

一 奠 妙 之 式

一 事 綿 之 物 之 十 式

一 同 股 門 式 十

一 帶 十 式 妙

一 色 帶 十 式 妙

一 事 綿 巾 之 式 門 之 標 意 之 十 式 妙 妙 妙 妙

一 事 札 之 式 妙 妙 妙 妙

一 雜 奠 拾 九 桶

一 干 竊 之 桶

一 壇 漬 奠 賜 之 桶

一 望

角

四 月 廿 二 日

右邊物幅側入之縁入上之合用也
平判を下之沖實は好也

箱ハ胡鮮之箱入寫掛書也
平判ハ取ハ之實は好也

袋并箱之上押紙之書付及記之

長方用湯漂着之朝鮮送備付送禮曹參議回答

書翰并幅

漂流ハ上書若歲付和之箱物之付及也
或ハ其色也

朝鮮漂流ハ上書并若歲付和具行物書付

右書若之字ニ毎ハ幅之字ニ毎ハ其色ニ混

為濃淡ハ其色ハ并漂流ハ上書若歲付

和具箱物之付及也又其色ハ其色ハ其色ハ

其色ハ

1. 右邊物幅側入之縁入上之合用也
平判を下之沖實は好也
箱ハ胡鮮之箱入寫掛書也
平判ハ取ハ之實は好也
袋并箱之上押紙之書付及記之
長方用湯漂着之朝鮮送備付送禮曹參議回答
書翰并幅
漂流ハ上書若歲付和之箱物之付及也
或ハ其色也
朝鮮漂流ハ上書并若歲付和具行物書付
右書若之字ニ毎ハ幅之字ニ毎ハ其色ニ混
為濃淡ハ其色ハ并漂流ハ上書若歲付
和具箱物之付及也又其色ハ其色ハ其色ハ
其色ハ

一九一七年七月二十一日

禮曹參議

禮曹參議

禮曹參議

禮曹參議

禮曹參議

禮曹參議

禮曹參議

禮曹參議

禮曹參議

禮曹參議

禮曹參議

禮曹參議

一九一七年七月

禮曹參議

禮曹參議

三使涉坑中舟之變二月十日
持此等梁頃之千夫之如^北境
中理一以成之也也

國西月九日

宗對馬守

一 文藏心發
自辛九月十日朔
刻刻一人宗
一 禮對列之月
唐舟志浦之海
之徒也
沙使志之如
原胡魁由之
之徒也
禮曹糸

其月十日
白水寺
沙月番戸回

山城古役
進右近衛前
出守守二進
少少白水寺
其先也
社也
之能也

山海經云其地多水其地多水其地多水
海民之居也其地多水其地多水其地多水
也身之通也其地多水其地多水其地多水
也身之通也其地多水其地多水其地多水

也身之通也

胡魏國慶尚道月章海款者有人
私一艘乘去年九月十日漢水如如
之故月同亦方對列其海款月唐舟

志補注漢水出於岷山東南流於海

也身之通也其地多水其地多水其地多水
也身之通也其地多水其地多水其地多水

也身之通也其地多水其地多水其地多水

也身之通也其地多水其地多水其地多水

也身之通也其地多水其地多水其地多水

也身之通也其地多水其地多水其地多水

胡船漂流人目録

初、其胡船由廣東向暹、月寧海、
志、言、心、在、九、月、十、七、日、卸、船、一、艘、又
人、家、組、由、船、九、比、言、八、里、程、中、其
船、如、未、到、西、風、強、其、如、身、何、
也、子、漂、流、中、其、住、人、九、月、到、
樽、其、中、換、海、地、方、漂、流、中、其、船、
し、在、但、月、漂、洋、中、其、又、回、本、之、原、到、
對、列、其、海、地、方、其、唐、舟、志、南、上、海、
也、

漂流人目録

一、大船、一、艘、一、人、一、人、

コントルサニ

一、大船、一、艘、一、人、一、人、

ノクムサニ

一、大船、一、艘、一、人、一、人、

イナニサニ

一、大船、一、艘、一、人、一、人、

ハニホギ

一、大船、一、艘、一、人、一、人、

コニテクノキ

漂流船目録、私具、并、法、道具

一、船、一、艘、長、三、丈、守、横、六、丈、守、め、海、地、方、

一 櫓を中

一 帆を張

一 櫓を舳

一 櫓を艇内を換

一 舟を棹を中

一 舟を人二或舟

一 水繩を舟

一 葦板十二枚

一 泊繩を舟

一 魚かきを舟

一 少綱を帖

一 少巾繩七中

一 少所を換

一 かのの小版次三他蓋

一 かのの抄子三

一 胡魁焼茶葉を他換物

一 回思

一 柳子白文

一 柳子白文

一 柳子白文

一 柳子白文

一 柳子白文

一 柳子白文

一 柳子白文

○ 右漢氏はとと右漢氏中一物物付と

此は昔の事也 柳子白文 柳子白文 柳子白文

柳子白文 柳子白文 柳子白文

○ 漢氏はとと右物付と日付ハ沙土と

日付ハ沙土と

○ 逆路子隔出と右と右と右と右と右と右と

沙土下判と右と右と右と右と右と右と

字ハ右と右と右と

○ 右ハ柳子白文ハ右ハ右ハ右ハ右ハ右ハ右ハ

右ハ柳子白文ハ右ハ右ハ右ハ右ハ右ハ右ハ

名打守之統

袋并名守之上押我之由身 押我之由身

相親國深氏送在余流礼曹未深回言出猶并幅

深氏存物之由 亦及之物或物之人

身之之良の亦之字深之

深氏死人之之歳忠守之言 之由深

亦乃同歳之由身之由身

元福七 成方 深國并之由身

改相海一身三月十日及亦田安海之由

小幡之部身之由 沙流之由 他文之由 死之

年之由 通相徳之由 目身之由 亦在余身之由 改物系

之由之由 沙流之由 他文之由 死之

一切之由 丹宗之由 從之由 之由 將之由 今之由 相改

之由 是年之由 被之由 作之由 亦深法之由 書之由

洋之由 守之由 私領之由 在之由 所之由 之由 通之由 繫

同姓刑部之捕家等私之年中一者よりこと
是又改金後作るといふ書成者全之年中
一古切支丹之款族之者若くは以て疑獄
云沙度作事

一順年中在りて同姓刑部之捕家等私之年中
りていふことと云ふこと若くは後より書
成者於中よりいふこと戸達事

又た

元禄七甲戌年十二月十日

宗次郎 沙判

小幡三郎久末の殿

右に御父又右村御父と云ふ色も御父と云ふ
色也のいふに若くは也女御と云ふは
かしら御父と云ふ女御と云ふは
右に御父と云ふは御父と云ふは
右に御父と云ふは御父と云ふは
右に御父と云ふは御父と云ふは
右に御父と云ふは御父と云ふは
右に御父と云ふは御父と云ふは
右に御父と云ふは御父と云ふは

移居之月、及至其時、
所書之書、皆能抄出、
在之通三月、入之、

元禄六年、
東葉路之西、谷之浦、之志、八人、
由航之、高、之、
二月十八日、
大津、
津氏、
長、
高、

元禄六年、
東葉路之西、谷之浦、之志、八人、
由航之、高、之、
二月十八日、
大津、
津氏、
長、
高、

仕と女と大月友友力夫より風子満也
洋中。流民を乞ふ如く日大自未別と云
又流民乞ふ如く二三所絶沖に抑也
居り非ぬ漕船税を乞ふ人等と
一 漕船入十月二日沙地下に立居る同
一 舟に積り置る陸分沙道に絶た彼所
一 遠南中と云及一と道中と云沙地色
一 舟身と云と人。舟身と云物を合ぬを
一 舟身の之を操船と云下船と云舟
一 舟身の之を操船と云下船と云舟

一 釈迦観音と云と云

一 舟身と云と云舟身令自民古語船一様

一 舟身と云と云舟身令自民古語船一様

一 親代持と云と云親代持と云と云

一 舟身と云と云舟身令自民古語船一様

一 舟身と云と云舟身令自民古語船一様

一 歳三十一

キムソソニニ

一 同三十一

キムトツトク

同三十一

キムゾニヨニイ

同六十

ハキトルソイ

同三十一

リテエナニ

同二十八

ハキシクニヤキ

同二十四

キムニユニヒル

同十九

ハキアイー千ヨル

私具并荷物

一胡船

之艘

帆

武

内 多々中八七等

一 延帆

武漫

内 多々張ハ六張六等

一 樽

武換物

一 加

之換

一 樽の身

之換物

一 總

之房 從首換物

一 本殿

之換

一 ありみ板

を板 長手之尋

一 二板

を板 摺物

一 水俣

を本

一 内二平ハア尋
二平ハア尋

を板

一 方菱

を板

一 干鯛

を中ニ儀

一 鴉大小

拾儀

一 大楠

を

一 小楠

を

一 徳利

ニ摺物

一 小箱

を

内

均針均針中中
細の切ニ尋 摺換を尋中
均針系中尋 均針系中尋 均針系中尋

一 小箱

を

内 摺物

一 卷

武蓋武蓋摺物

一 小

を 徳

一 折

を継

一 右方糸

め糸

一 活の活

を糸

一 活

を継

一 三糸

ア糸

一 糸糸

式

一 糸糸糸

十二物

一 糸糸糸糸

糸十

一 糸糸

糸糸

一 活の活

二

一 活糸 (糸糸糸糸)

一 物縫針入糸

を

一 活糸の糸

を糸

一 活糸

を継糸

一 同糸入

を同糸

一 活糸

一 同糸入

を

活糸糸糸

右之諸物皆送與弟入担去包之

一皮 或皮

一從素白歛 或通

一浪子 去包數九

一忘物 十二從身物物

一与心人 七身物物

一唯子 已物物

一裕亦人 去從身物物

一... 八... 物物

一白... 去

一竹... 去

一色... 三

一中... 心

一... 心或了皮

一古... 二物物

一... 八... 物物

西十二月廿一日

右那吉田之御、お徳上色、以て度成、言

事、色、人、書、

昔、色、人、書、

若、藏、船、具、之、物、人、書、

一、御、船、渡、後、人、口、書

一、御、之、儀、御、船、國、志、尚、道、長、松、等、取、之、同

一、色、伊、浦、之、事、者、言、津、之、在、公、二、月、十、日

已、刻、子、如、以、言、津、之、在、公、二、月、十、日

之、凡、友、之、友、力、ま、ら、但、月、洋、中、之、流

其、在、之、同、方、日、申、別、長、門、之、津、津、津

向、津、具、村、の、尻、之、事、津、津、津、津、津、津

津、津、津、津、津、津、津、津、津、津、津、津

石、之、同、海、の、御、之、津、津、津、津、津、津

彼、亦、在、遠、向、津、津、津、津、津、津、津、津

津、之、事、津、津、津、津、津、津、津、津、津、津

醫、所、津、津、津、津、津、津、津、津、津、津

駕馬を御之者丸を馬より沙道を
去人未終る名物一合のまき草を食
母成る身難くともゆ
一祝く宗方より沙守より終る禪宗ら
観音釋迦と念ふ

沙路人若并歳行

歳み十七

回心十を

回心十

回二十九

回二十八

回二十六

回才三

回二十を

回二十

回二十

回十六

ソイマニニ

カクホクニ

ソイソセニ

ヒエニシユニ

ソイソラニ

ソイソハニ

ソイケイニ

ソイスマサニ

キムソシヤキ

ソイソクニ

ソイセニ

私具并荷物

一 胡魁船

去被 但并八為換八人等

一 楫

去羽 并八人荷物

一 帆板

武本 但 同去本八等及那一人

一 水繩

武節 但 同去節八等及那一人

一 帆の

三節 但 同去節八等及那一人

一 櫓

八挺 但 換物

一 帆

武張 但 同去張八等及那一人

一 兼板より小

武板

一 水竿

武本

一 わり板

三 換物

一 葛繩

去節 但 并八等及那一人

一 細浮繩

但 百六拾四換物

一 奥すくひ

去

一 木舟

去

一 小舟

去

一 舟

去下

一 少くとも

を疑

一 細掛をよて

武位をいふまゝ

一 高宗義

七位孫也

一 堀部

十位後位継体天皇

一 加多と

を以孫也

一 破楚

武位

一 破沙丸

を叙

一 首之電

を

一 名物

三拾三位孫位継体天皇

一 是成気

拾武位位孫也

一 本誓

拾武位位孫也

一 一り

を言ふ位孫物

一 かのの善善宗六

六

一 四

を位孫也

一 かののさ

三本

一 兼統

武位を以孫也

一 かりり

を

一 毛紙巾

六 俵袋

一 きんぎょ

七 巾

一 巾着

或はあらくら入也。

一 襦き布

一 平判を

一 角のふり

きんぎょ

一 螺かき

一 右に又を結

一 後

きんぎょ

成

三月九日

右取書一冊。お徳さま唐紙のきんぎょ包に付

とよま

長門月川尻に渡りて、胡蝶入りの書

右藏紙具名花物の書付

通稿子簡如常。くさしおの袋に入ると、右目

沙判をうすく、或は沙判を他封する。

九中沙中判也

。宗、胡魁、方、年、山、母、再、原、之、名、入、了、了、抄、

表、押、也、一、沙、中、判、表、表、八、下、沙、案、

之、如、宗、行、身、之、位、

。代、先、并、之、之、押、我、之、也、身、押、我、之、也、身、之、也、

長、列、死、浦、漂、着、之、胡、魁、入、道、而、山、身、從、社、曹、宗、議、回、答、書、辨、并、

長、列、死、浦、漂、着、之、胡、魁、入、道、而、山、身、從、社、曹、宗、議、回、答、書、辨、并、

。海、民、若、也、之、月、大、波、之、物、或、也、人、之、也、

。海、民、若、也、之、月、大、波、之、物、或、也、人、之、也、

。之、儀、沙、藏、也、若、同、藏、也、也、身、也、也、

。石、之、返、流、也、身、後、也、也、也、也、也、

。身、之、之、流、物、身、之、也、也、也、也、也、

。心、之、之、人、

。胡、魁、國、之、也、尚、道、宗、業、助、之、也、也、也、

。者、八、人、一、般、之、宗、也、南、貴、之、也、也、也、

。身、之、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、

。十、月、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、

。以、口、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、

長河の月又存、澤忌仕公止又奈高
長坂着、月包伊浦、丁取、澤民
十二人、取一、彼、去年二月十日、澤
所、知、立、氣、凡、同、日、長河、月、在、澤
那、向、澤、奥、村、川、尻、澤、忌、仕、公、在、澤、民
松、平、長河、与、住、在、長、河、沙、也、の、住、也、是、也
公、情、心、立、之、于、冷、識、胡、貌、人、緒、之、在、
と、封、馬、与、家、才、也、の、後、立、也、去、年、
封、馬、也、の、り、の、か、お、副、使、も、澤、忌、仕、公、道、之、也、
と、公、情、禮、曹、也、澤、忌、仕、公、事、任、外、也、
澤、民、の、口、と、公、并、私、中、の、物、之、也、は、
お、澤、今、反、刑、動、之、捕、之、を、先、と、之、の、公、也、

三月吉日

宗次郎

向水寺

。後、取、澤、忌、飛、堀、部、人、立、道、之、也、
後、取、澤、忌、飛、堀、部、人、立、道、之、也、
少、後、也、公、お、生、之、也、
法、澤、也、後、沙、封、中、の、事、也、
少、後、也、公、お、生、之、也、
法、澤、也、後、沙、封、中、の、事、也、
少、後、也、公、お、生、之、也、
法、澤、也、後、沙、封、中、の、事、也、

飛舟の沙海間を渡りて後往し居る後其後其後
日人多く是を喜ぶ是を喜ぶは其の喜ぶに
是を喜ぶは其の喜ぶに

口とく人

胡銘志高道之月固城即之志之人
永一被之宗去之一年十月十日對列
位後即之海志往之身去之對馬之
彼由之送之也返務之身往之對馬
是之也後即之海志往之身去之對馬
是之也後即之海志往之身去之對馬

三月九日

宗波高道
白鳥重隆

一之錄七甲戌年七月廿一日朔日國志高道
内東岸即南川里之漢氏十一人船一艘
宗對列志及南浦之漢志身同年

靈芝院後少好生之用彼處之造在
沙極去山後送翰書身事 法德居極
清蓮湖之人之先之德之入之錄八之
四月廿八日沙月書去極山極書
事書德之人之先之出并 河部書極書
如河送翰不幅之字海民字之書中
事心山和保先之石沙連山事
之印海民字之書未之記之

一書極書之先之入之書
德之德非胡鮮人之去平同民對
方之副使去之德由之送在極
系議送翰書身事之德之口之書
先之之非。右海民之口之書并
行物之書身極之先之之平
德之

三月十八日

法德中後之人

河部去後書後

○世後書後之尸上之身如此書後

朝鮮漂流人口上書

初、俄朝鮮國之尚道、自東萊郡

南門里之志、与沙乃乃、高月、古、未、到

船一艘、捨了人、余、為、籠、泊、此、一、日、甚、難、

其、如、網、之、立、之、夜、八、時、其、在、此、也、

亦、方、知、之、刻、西、月、其、在、此、也、

年、之、刻、時、分、月、而、流、子、如、之、處、

柳、之、初、後、雖、見、之、及、雖、如、月、由、之、也、

尸、如、也、私、之、二、二、如、也、換、一、洋、難、如、也、

之、初、後、洋、中、二、如、也、如、也、在、之、也、

時、之、也、後、之、也、而、八、心、尸、之、也、少、月、流、

之、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、

對、列、之、也、志、也、而、浦、也、也、也、也、也、

漂流人名并歲年

歳四十八

千ヤククスクチニ

同四十四

キムシノトニ

同四十一

ハツシナサニ

同三十六

ツライイヤクサニ

同二十六

キムササイ

同二十一

バクキユソニ

同十三

セ、グテニ

同十一

ハクタイナニ

同十一

キムイルセニ
キムクムホキ

同十七

キムシクスキ

秘具并花物

一 秘一艘

長サ二丈六尺八寸横七尺八寸深サ三尺五寸

一 楫

一柄

一 櫓大小

二本

一 帆

武浪

一 綱

四ヶ方

一 舟履

一

一 櫓 六挺

一 水竿 七本

一 蓬 七枚

一 責板 三拾七枚

一 くら縄 二十式節

一 け縄 十九節

一 綱 拾九帖

一 かひの陣 拾五

一 かひの廻 三

一 善 式

一 旗のく 七挺

一 旗 七挺

一 庖丁 九挺

一 糸衣 式枚

一 小細引 十五節

一 兼尻 三

一 焼物の道 三

一 小堂 二

一 德利 八

一 本神 七

一 加() 六

一 庭 六

一 柳() 武

一 干簾 武百七拾段

一 草物 六

一 海() 拾六

一 從() 拾六

一 從() 拾六

八二

戊 七月廿八日

右册吉一紙。抄徳意唐紙。与()

仕()

對列() 志() 用浦() 深() 之() 胡() 入()

口() 虫() 若() 或() 亦() 具() 若() 物() 之() 虫() 行()

送魏之德松足却之送代名之也

刻志多南浦漂者之朝鮮人送布山江流礼曹系議回言書翰并別幅
是後古松之友前公送魏子幅之字如昔也

乙巳二月廿日

相如漢人送送山江流礼曹系議回言書翰并別幅

古之題山江流礼曹系議回言書翰并別幅

乙巳二月廿日

乙巳二月廿日

相如漢人送送山江流礼曹系議回言書翰并別幅

漢氏十丁人私一艘

漢氏十丁人私一艘

漢氏十丁人私一艘

漢氏十丁人私一艘

漢氏十丁人私一艘

漢氏十丁人私一艘

漢氏十丁人私一艘

漢氏十丁人私一艘

乙巳二月廿日

宗法印

宗法印

一 元祿六年自十一月至百胡氣未去又尚道三

月因賊劫之者六人祇一艘之宗對列於彼劫
指之、漢志之甘同七年 靈聖之院後

沙坪生之月彼由之至道中如沙地云公後
返斃於其身沙由之月下 沙隱吾後沙

封平之沙沙連沙之之靈聖九之傳之之祿
八 亥年十一月十日沙月書之田之如之

沙之書白之靈聖九之之靈聖九之傳之之祿
如沙之沙之靈聖九之之靈聖九之傳之之祿
沙之沙之靈聖九之之靈聖九之傳之之祿
沙之沙之靈聖九之之靈聖九之傳之之祿
沙之沙之靈聖九之之靈聖九之傳之之祿
沙之沙之靈聖九之之靈聖九之傳之之祿
沙之沙之靈聖九之之靈聖九之傳之之祿

一 筆波勢之件對列、月依諸部之滌

一 忘休休胡鮮人去去年頃同民對馬吉子
如副使十之彼由之送之申之書又頃禮曹

系職返物波之申之傳之為沙披人
元之之件。右漂民之口上書也并

永中一荷物之也甘飯子紙乃之也
忌慎行也

四月十日

清廷平復之人

河部之復

○世後各夜三月二十一日身出此書

胡鄂漂流人口之書

初之成胡鄂至度尚道之國城

高之在公始之扣納公鄂為催促

之國巨海流之浦公鄂之國城

仕公之文祥之十日午之刻今西

子加公之公之浦漂漕入之

均先之印印列之加公之漕

鄂如之在印月波漂流也

鄂上漂之公之夜中一

公之換之之初之并

陸揚

漂流人口之書

一 歳二十又 キムヨセキ

一 同二十又 バグトルソイ

一 同二十又 ラスグハイ

一 同二十又 テノシサシ

一 同二十九 ムンシシ

一 同二十又 キムチヨクセキ

一 永具并荷物

一 破紙之板

一 蓮紙 或板

一 今の高意本 九

一 同著 三版

一 同四 或

一 同系記 六本

一 本物形記 或

一 同編入名物 十或

一 同給 二

一 同草物 二

一 同股引

八

一 次巾

式

一 眉巾

六

一 毛笠

六

一 皮巾袋

四

一 皮蒲団

式

一 布袋蒲団

二

一 皮笠袋

三

一 布袋笠袋

三

一 同品巾

二

一 網の風呂敷

三

一 布の袋

式

一 布袋袋

三

一 柳うり

七

一 竹皮袋

三

一 小刀

式

一 手巾

四

一 柳子尻袋

三

一 洞湯

去

一 洗湯

去

一 澆

去 挺

一 獲物毒

去

一 空丹

或 収

一 延

去 収

一 少糸

或

一 所

去

一 義

去 挺

一 桶大小

或

一 丸

或 収 日 収 角

一 上

酉十月十日

右州吉二紙。お徳と唐紙と茶と包紙

とる丸紙と

對列佐後助江深志之胡親人

口上書并若威私具若物志也

。逃親之逃在之規之逃貸於之也

對列佐議助江深志之胡親人送由山江定禮曹系議回答書翰并別幅

。其後志在之方之逃親子幅之寫取若。如認人

上包之也也

一 朝鮮漂浪人送由山江流禮曹系議回答書翰并別幅

一 逃親子幅之寫

右之通志在之方之逃親子幅之寫取若。如認人

之次志在之方之逃親子幅之寫取若。如認人

逃親子幅之寫取若。如認人

彼由之送由山江定禮曹系議回答書翰并別幅

為物之也也并若威私具若物志也

上包之也也

二月十一日

宗法部内

白之書

右之通志在之方之逃親子幅之寫取若。如認人

口上書并若威私具若物志也

亥

九月十日

宗次郎

右之りし右付料紙形古紙一枚お徳
上包免流紙も右包と申はる海

苗年對列兩紙圓申麦代換毛之入宗次郎

右換毛之麦沙由之入毛儀十合鉢に斗

入斗に計り方お七百の拾之儀の右付料紙古紙

六斗之元也儀之束鉢の申お鉢入斗七合

六斗之元也儀之束鉢の申お鉢入斗七合

或も六拾之儀之申お鉢也之申お鉢と際へ

三儀束之申お鉢沙由分申も右付料紙

九三記紙

之入

都合拾麦式万千七百の拾之儀 但十合鉢に斗入

石八八七百。右石式

京師天走万式千百之拾五名

石志八郎當亥年春此換毛之三百此

沙那山山

亥

七月日

沙那山山

亥

一拾物成式百式拾了儀之申 申申七合 是時那

一同六百拾九儀之申 申申三殊式合み夕 佐役那

一同七百拾二儀之儀 二殊式合式夕夕 伊宗那

一同六百八拾八儀之申 申申六合 仁任那

一同六百拾二拾式申 式申申八合九夕 此良那

一同式百之儀 三申申七合七夕 佐次那

一同九拾七儀之申 申申 醒豆那

合拾物成式式八拾八儀式申 申合式夕夕

右之申从之島本之庭沙物成之角拾妻此那

沙那山山

亥七月日

沙那山山

一 元禄七甲戌年十一月十二日胡船中全羅以二月
興陽劫之者二十一人船一艘金組並列西浦浦
濱長月二月十日慶尚道西浦海之志
久人宗一艘松平大船更松山原內長列西浦
黃海戶浦長濱長月八日亥年三月廿二日
對西回遊西浦長船者二十一人并並列之志
久人宗一艘對列鴨居海浦濱長月十日亥年
之志二十一人宗一艘慶尚道浦濱長月廿二日
胡船中全羅以二月十日元禄八年三月二十日
涉月番西船長濱長月十日亥年三月二十日
主見人宗一艘并涉民見之志船中荷物并
九人宗一艘長濱長月十日亥年三月二十日
二宗一艘民見之志船中荷物并涉民見之志
亦見人宗一艘并涉民見之志船中荷物并涉民
相認見之志船中荷物并涉民見之志

足之志

一 胡船國慶尚道西浦長船者九人并並列

紙身身身身身身身

十二月

宋列朝文補

右粉紙奉主主切主已主德紙主身身
主主 主主主主主主主主

長列黃兩南浦漂名之朝鮮人 主主書

若物身身身

朝鮮漂流人 主主

我庚朝鮮國慶尚道內寧海者身
身身十二月朔九人取獲乘組漢中
准處俄大西角漁地身漕身身難身
身身身身身身身身身身身身
身身身身身身身身身身身身
身身身身身身身身身身身身
身身身身身身身身身身身身
身身身身身身身身身身身身
身身身身身身身身身身身身
身身身身身身身身身身身身

送身事一志を存すとの道中若くは花を
作身事との道中若くは花を
送身事多人の志地二念をきき若くは
一極先言如下難生とも好女
一我の志を存すとの道中若くは花を
秋の志を存すとの道中若くは花を

送身事

歳三十一

キニクツスギ

日二十七

キムツホキ

日二十

コニリヤヒ

日二十七

リククスギ

日二十

ホリムスギ

日二十

セサニク

日二十

キヤヨカシ

日二十

キムトヒニ

日十八

ヨクコトキ

松鼻并花物

一 胡蝶

他 長サ七寸五分
廣サ七寸五分
深サ三寸五分

五股

一 檣

同 檣の字或人
をいふ事

或本

一 帆

或帳

一 櫓

七丁 櫓物也

一 楫

他 松木

或舟

一 篙

或拾り板

一 木

幸丁 櫓物

一 帆

或舟

一 棹

或棹目

一 長

繩 他 諸 行 凡

或諸目

一 目

或諸

一 臭

或

一 右

或

一 加

九 櫓物也

一 行

或舟

一 所

或

一 諸

或

一 首

或

一本鉢

五

一本二竿

但五竿ハ三番
五竿ハ二番

武家

一本三竿

十九

一本葉

七本

一本少

二本

一本三

五本

一本六

七

一本毛

八種

一本皮

九

一本日

武中

一本足

十三

一本木

九

一本目

十八

一本合

九

一本若

九

一本目

九本

六

亥九月十日

右肌者思三一紙。お徳之包も其紙に
しりし包に之

昔別二月大津那若及之向漂着者朝鮮
人等も其威取具其物之也

通物者も徳取人等も通物之也

朝鮮國長官別黃腹及浦漂着者仁智送
申上候禮曹及少議通物并而情

對川西泊浦漂着者朝鮮人等書
并其物之也

朝鮮漂流人之書

我々朝鮮國全羅道三月廿四日者

多々人等十人取去候事組江京道三月

力ニセク也申新江等九人取と後為高麗高南

古之方知江國六月十日候所一故是能真也

小籠費調十月十日力ニセク也既十一月十日

慶尚道三月十日等事之也單調申一沖一也

西風強・或一年の風波致す日對り
河浦に漂着る江津

漂民歳并々守

歳卯申七

キムユソハ

同甲八

キムユエニ

同乙未

ギムユホキ

同辛七

テクメグシニ

同乙未

ツライニユホキ
ツライメクニヤキ

同丙

キムトグマニ

同辛八

コニセナキ

同辛

ニヤグバキ

同十九

キムセニ

同十八

キムヨグセニ

肥具并存物

一羽鮮肥

長サニテ四尺
横サニテ二尺
厚サニテ六寸

一被

一 檣

或本

一 帆

或張但換物

一 櫓

三丁

一 水竿

四本

一 碇

三房

一 小碇

或每

一 水繩

四每

一 さんど

四每

一 ちりし板

或丁

一 箒板

或拾二枚

一 大重篋

四枚

一 簞

或枚換物

一 並(通)

五

一 松舟

或拾二本

一 ちりしりす小

四

一 ちりしりす小

十八内或換物

一 柳こりす小

十四

一 配下

斗

一 双

斗

一 少

斗

一 飯

二

一 壺

九

一 茶

十

一 かの箸

十

一 筵

十

一 盆

三

一 斧

五

一 沂

斗

一 朝鮮

二

一 小桶

一

一 糸

二

一 水瓶

一

一 茶碗

八

一 四

六

一 汗

六

一 草

少

一 于艮

武百二十枚

一 真冲入义利

器二

一 于朝

九枚

一 小觥

五于武百七拾枚

一 同子

三德他物

一 同膳久壺

三

一 同善物

三枚

一 布帷子

八

一 同股引

五

一 木絲股引

十一他物

一 同蒲团

四

心

戊子月十日

右抄成右月子心

對列之內西伯浦漂着朝鮮人
其姓名歲取具行物之書

送給品之書代家之書

朝鮮國及對列西伯浦漂着江戶送
送給品之書代家之書

對列鴨在廣浦唐舟志浦及西伯浦

朝鮮人其書行物身之書

朝鮮漂流人口之書

我之歲朝鮮小唐尚道之內長卷之書
其在小唐正月十八日九人乘二艘乘組為
船漢之書其書之俄西風強之書取具之書
換之書此書雜乘取漂洋中曰大之書
對列之內鴨在廣浦漂着江戶

漂民歲并之書

一 歲甲七

テニゴクキ

一 同甲四

カグイルリニ

一 同甲武

子トリ

一 同甲

キムチユクスイ

一 同甲七

キムチユニサニ

一 同甲九

キムクイブキ

一 同甲武

ハキバキナニ

一 同甲八

ゾイルセニ

一 同甲武

ゾウソキ

水具并志物

一 朝鮮布

長廿二丈 廣廿二丈 厚廿二丈

玉衣

一 檣大小

或本

一 帆

二張 月三張 月三張

一 櫓

七板

一 篋板亦

三拾二板

一 木屐

三

一 長繩

十三法

一 け縄

七節

一 小細

一 帖

一 危下

七挺

一 斬

一 挺

一 整

一 挺

一 奥如

或中

一 三ノノ

九蓋

一 葉歌

七本

一 小蓋

七

一 柳花利

五

一 木折

武

一 奥新

十三

一 生奥

廿又

一 毛頂中

又

一 木折

二十

一 同股

十八

三

他物

美 九月

朝鮮漂流人口

我々の朝鮮國度尚道二角廣列する
の在る高正月十八日八王二艘二乘組が
鶴濱の島に着て俄に風強し如く浪
波方漕ふるに是れを以て北鼻換り
るに俄風の中をせよと云ふ處同月二日對
し月鴨長瀬浦に漂着りしは

漂流民蔵并名

蔵并

カニクリ

同平又

テグサスキ

同二十

キムチウケニ

同二十

テグゾニ

同二十

テグパイニ

同二十

キムブクニ

同二十

イソトニ

同十八

キムクニ

北鼻并荷物

一 朝鮮松

長或丈八
但廣之尺寸
亦或七寸

七 棹

或長四寸五分

一 檣

或張

一 檣

二 接 口或接物

一 水竿

五 本

一 篋板

三 平 板

一 長繩

十 八 結

一 釘

七 接

一 單

七 接

一 庖丁

七 接

一 小臺

四

一 兼碗

五

一 柳 二 刀

四

一 三 寸 刀 具

八 蓋 天

一 兼 匙

五 本

一 生 臭

五 本

一 毛 氈 巾

四

一 毛 氈 巾

十七

一回股列

十

定

亥九月廿日

朝鮮漂流人

我辰朝鮮國慶尚道内長峯寺之志ら
辛酉年九月十八日一人重去艘之平道
為船漢之如の慶俄西風強之波水船
少部其之航一張之次及之乃漂流
中慶同古之對之内慶舟志浦之漂者

江

漂流及歳并久

- 歳廿六 ツラクイナミ
- 同廿七 ツラクニヤキ
- 同廿八 ツラトルボキ
- 同廿八 キムニヨトキ
- 同廿八 ツラニクナミ
- 同廿九 ツラテナミ

同二十七

ユナクセニ

同二十八

ツラウスキ

同二十九

ツラウイフキ

同三十

ツラウナキ

同三十一

ツラウニヤクナキ

同三十二

ツラウニヤクナキ

賀年符物

羽餅

長三丈六尺

吉禮

檣

吉禮

帆

吉禮

櫓

八板

楫

吉禮

石炭

吉禮

水竿

吉禮

笠板

吉禮

河板

吉禮

水繩

吉禮

一 長繩

二 武造

一 つけ縄

六 笥

一 蓑

七 笠

一 蓑干

三 本

一 庖下

十 段

一 蓑籠

六 段

一 沂

五 段

一 藪

五 段

一 名神奈

三 段

一 柳籠

二 段

一 蓑籠

二 段

一 蓑籠

一 三 蓑籠

一 蓑籠

十 段

一 四

七 段

一 七 頂中

七 段

一 本 終 尾 物

三 段

一 日 終 尾

三 段

一 終

夏九月

石抄紙目

對列内鴨長秋唐母志浦支新

深美有朝鮮人只中各歲如真若也

虫牙

邊路の事書代家の子牙

朝鮮の事對列自出の漢書は年送還

尺禮節の事邊路の事別隔

書讀の事代家の子牙別隔

凡そ此の紙に記す

元禄八己亥年十二月廿二日

神尾儀兵衛

多事此方

神尾儀兵衛

此書

光中下等... 法方... 鏡... 光中

光中... 法方... 鏡... 光中

光中... 法方... 鏡... 光中

光中... 法方... 鏡... 光中

光中... 法方... 鏡... 光中

光中... 法方... 鏡... 光中

光中... 法方... 鏡... 光中

光中... 法方... 鏡... 光中

光中... 法方... 鏡... 光中

光中... 法方... 鏡... 光中

光中... 法方... 鏡... 光中

光中... 法方... 鏡... 光中

光中... 法方... 鏡... 光中

光中... 法方... 鏡... 光中

光中... 法方... 鏡... 光中

光中... 法方... 鏡... 光中

光中... 法方... 鏡... 光中

者漢文乃上中下三行禮文乃上中下三行
成身之禮及改之成身之禮及改之成身之禮
方禮文乃上中下三行禮文乃上中下三行
三行禮文乃上中下三行禮文乃上中下三行
今禮文乃上中下三行禮文乃上中下三行
心起禮文乃上中下三行禮文乃上中下三行
白老子上或足捨重對法全儀誌
仍身之禮之宗禮部禮部上中下三行
舍儀誌乃拾上者上中下三行禮文乃上中下三行
并下禮文乃上中下三行禮文乃上中下三行
相改中知真教相道禮文乃上中下三行
身中上中下三行禮文乃上中下三行

宗禮部

元禧八年十一月廿二日白木書集書類

卷下

前由安應守條
神虎德系守條
他石伯看守條
右沙家守條

右之海村隱波德子也
手書同前

一元祿八乙亥 年山國并思代沙領五年苗
宗門改相所并沙德文名多原生あ方之因封
心川御金成安同安應守候小情之意風情
沙も之徳文德相お書成此沙公守也之
お即之書常八沙德文河田到之書
沙初少之同十の歳之六家光中格判判
之乃出候相沙德人方苗年之苗之成
付者公主毎之成沙十之歳之沙判
相沙公主大沙文下出之書守之相沙
相沙右書文之相徳十一月去月切之丹
守守の相向お徳与相小情之意風情
相書の相守書上之徳文書公

一切支丹宗門境前之書將意令相改中
先年之作出沙法及書之題相守

宗法部領中在之所
宗法部領中在之所
宗法部領中在之所
宗法部領中在之所
宗法部領中在之所
宗法部領中在之所
宗法部領中在之所
宗法部領中在之所

宗法部領中在之所
宗法部領中在之所
宗法部領中在之所
宗法部領中在之所
宗法部領中在之所
宗法部領中在之所
宗法部領中在之所
宗法部領中在之所

元禄八年十一月廿日

同
相澤屋振判

高安屋振判
小幡三郎屋振判

右之趣行付置紙
徳吉色長國長年色也

一 元孫八七美年一肯亦言朝鮮國慶尚道
月並列那地境里漢民十人取一聽案
於一月內包海而漢民身朝鮮一送
中道稿如來之日年十二月大言律書
自來至三月三日即後其後其後其後
何者自南七處相換其後右入海路并漢民
里五那中若物其後其後其後其後
了右入寫其後其後其後其後

口之入之入

朝鮮國慶尚道一月並列那地境里七
戶而漢民十人取一聽案其後其後其後
漢民身朝鮮一送其後其後其後其後

賢者游之月津如海浦深名在右
漢氏紀亦言方云款中為上為心
浙一之送亦云不傳其之至記識朝朝
物之之其年之象日之其後亦其和
副傳之信也送而之如地礼費矣其
通商改其年之信之為其人之其
在漢成之其年之其年之其年之其
公身之其年之其年之其年之其

十二月廿二日

宋制於其

右料紙奉之其年之其年之其年之其

包之其年之其年之其年之其

朝鮮漂流人呈

我之族朝鮮國其文尚道內廣列之其
地境之其年之其年之其年之其
十人亦其被其年之其年之其年之其
缺之其年之其年之其年之其
其年之其年之其年之其年之其

戸新 漢意は公家致の業取の心地
立御守其之本能善物吉の元
大言長海に心送て成て御守
御守其の心地
一 致 漢 禪 宗 云 釋 迦 觀 音 と 念 尸 心

漢流人名并歳付

歳二年七 リカムニヤキ

同二年八 まんちんサキ

同二年九 キムナムニヒ

同二年六 キムナムキ

同二年 リイナヒ

同二年八 リイボキ

同二年六 リングニヒ

同二年一 サイセニイ

同二年九 キムイブセニイ

同二年六 リイタリ

聖具并荷物

一 取去被美板丸

他 長廿七寸
横廿五寸
深廿五寸

一 橋

二本

一 帆

二張

但之夜帆下板丸

一 櫂

或板

一 樽

七板

一 水竿

九本

一 交り竿日武本行

五本

一 弓反

或

一 本板

五

他板丸

一 草物大小

十或每

一 長繩

十三每

他泊汁丸

一 安綱

五板

一 長柄クニ

五本

一 大泊汁

五本

一 筵

三枚

一 木 坤

吉

一 土 火 坤

吉

一 沂

吉 辰

一 整

吉 辰

一 大 危 丁

吉 辰

一 庖 丁

九 辰

一 繞 物 登

武

一 心 楠

吉

一 子

武

一 心 子 坤 太 心

武

一 干 艮

百 土

一 干 艮

七

一 干 艮

六

一 心 子 坤 太 心

武 午 吉 蓋 元

一 弟 魁

十 五

一 子 坤

二 本

一 毛 聚 中

四

一 本 錫 總 物

十 一

とん... 書... 遊... 終...

心... 光

去年同... 馬... 終... 遊... 終...
幼少... 加... 用... 私...
幼... 家... 上... 加... 終...
と... 流... 判... 遊...
子... 終... 終... 終...

おは... 遊... 終...
遊... 終... 終...
終... 終...

三月十日

子... 終...

「... 終... 終...
終... 終... 終...
終... 終... 終...
終... 終... 終...
終... 終... 終...

此亦再裝之書也

羽野書院禮曹采判回言書院手抄

